THE KEIJO NIPPO 大正九年十二月二日 (木曜日) 第四千七百十二號 (一)

京城日報

京城府大平通一丁目 合資會社 京城日報社

朝鮮に於ける宗教(中) 其の將來如何

朝鮮の佛教が僅に其の形骸を殘し、其の精神の既に死滅した後、何物を以て此の缺陷を補つて居たかといふに、上流社會は大抵儒教に歸向して、祭祀冠婚は支那式を用ゐ、下流社會は低級なる迷信の裡に彷徨するは、實に止むを得ざるの趨勢であつた。而も儒教は政治道德を主とする一の倫理教で、之を宗教に代用するには餘り現世的で、餘りに常識的で、到底人間に固有ご稱せらるゝ宗教心に滿足を與ふることができなかつた。此の間隙に乘じて新しく輸入されたものは耶蘇教である。耶蘇教の朝鮮に入つたのは隨分古いことであるが、其の公然布教を許されたのは明治二十九年の事である。此の前後から朝鮮人が外國人居留地に出入し教へを聽き道を求むるもの次第に多くなつたが、外國宣教師等は其の治外法權を利用し、又其財力を以て、最も巧なる弘教手段を講じたるが故に、信徒の數年々歳々增加し、又何時となく居留地外に出で、教線を張り、到る處に教會堂、講義所の類を設け、今では朝鮮に比肩すべきものなき有力のものとなつた。而も是等の宣教師の間には隨分無責任の言動をなすものあり、殊に青年に對する教育に就て、動もすれば我統治方針と撞著するものが多く、常に我官憲をテコ摺らしめたものである。日韓併合の當時寺內總督が道長官會議に於ける施政の方針を訓示したる中に、左の一節がある。

私立學校中には朝鮮人の設立に係はるものありと雖も、其の多くは外國宣教師の經營に係り(中略)私立學校中、唱歌其他のものに於て獨立を鼓吹し、又は帝國に反抗するを奬勵するが如きものを用ふるものあり(中略)若し朝鮮の少年にして此の如き思想を釀成したらむには、如何なる結果を生ずべきやは、朝鮮人自らも深く反省せざるべからず。例へば獨立を叫び、其術遂に日本に反抗するに至り得ると假定せよ、其結果、朝鮮人果して幸福を增加し得べきか。日本は實力を以て之れを鎭壓すべく、此間何等苦痛を感ずることなきも、獨り朝鮮人は之が爲め却つて不利益を蒙るのみ云々

是れ恰も十年前に在りて、昨春の騷擾を豫言せられたもので、國際騷擾の首導者たるものは、直接間接に外國人の思想感化を受けたものに多かつた。其の結果、朝鮮人側に多大の損傷を受けたことはいふまでもなく、外國宣教師其れ自身も種々の不利益を蒙つたものあるは、事實の證明する所である。眞否の調査はまだ正確に行屆かないが、騷擾以來朝鮮人の耶蘇教を去るもの隨分多いといふことであるが、是は外國宣教師の庇護を受けられず、種々の利益を享けられると思つて居た側の事大思想の破綻に依るもの多からうが、耶蘇教其のものがまだ朝鮮民心を精神的に引附ける力がなく、單に一時方便と手段とを以て、外觀上の盛大を裝うたものではなからうか。

思ふに朝鮮人の根本倫理觀念は六親の和合慣悌に在り。是れ二千年來支那傳來の思想に依つて醸成されたもので、其の根柢は頗だ牢乎たるものである。此の根本倫理觀念と、西洋式の個人主義とは到底ピッタリと浹洽し得るものでない。六親和合の家族主義を飽まで把持せんか、個人主義を其間に交へて之を容るゝの餘地なく、又徹底的に個人主義を信受せんか、朝鮮固有の美風良俗に背き、祖先以來の倫理觀念を根こそぎ拔き去つて了はなければならぬ。凡そ人間として此の兩立すべからざる思想の中間に彷徨ふほど不幸なことはない。朝鮮人は事實上、二者擇一の場合に立つて居るのであるが、果して何方に趨くであらうか、吾等が興味を以て觀察する所である。

帝國の憲法は信教の自由を許してあるが、それは國の安寧秩序を妨げず、又は臣民たるの義務に背かざる限りのことで、絕對無條件のものでない。耶蘇其ものが善く此の條件に適合するものとするも、其布教の任に當るものが、前に述べた樣な非難を免れない以上には、こゝにも又布教の一頓挫を來すべき譯で、將來耶蘇教布教者は深く此點を反省しなければならず、又朝鮮人としても餘程其去就を吟味しなければならぬ次第である。吾等は此方面から更に一層將來の布教方法に注目する必要がある。

セ將軍浦鹽に現る 我が軍の警戒嚴重

チタに敗れザバイカル南境にて更に慘敗して從來ウオデコフオに向ひ同地に滯在中なりしセミヨノフ將軍は昨夜十時著列車にて突如として浦鹽に來りたり之れを見たる市民は倘々として之れを迎ふる由もなく我派遣軍は列車及び停車場附近を嚴重に警戒中にて我軍にては最近の狀態に鑑み該州以外に退去を命ぜしのみならず其浦鹽滯在中通信其他政治的行動に關する外部この連絡交渉をなさしめざる方針をこり此旨明日中に警言する筈なり(浦鹽二十九日發電)

日本へ亡命?

昨夜著列車にて浦鹽に遁れ來れるセミヨノフ將軍は鳳山丸にて出發したりとの風說あり(浦鹽二十九日發電)

◎廿八日午後十時日本軍一箇中隊及び武裝せるカッペリー軍に護衛せられたる一列車浦鹽に到著せり這は問題のセミヨノフ將軍を護衛し來れるものにして我が軍は秘密となし一切面會を許さゞりしが二十九日午後五時頃に至りセミヨノフ將軍一行は我が特務船に乘込めるを以て日本に渡航せるものならん(浦鹽電報)

齊多政府に反對 浦汐有産階級の決議

有產階級及職業的及産業的勞働階級代表者は昨日會議を開き齊多政府が反民主的なるより之に反對する決議をなし尚浦鹽の齊多政府承認に對しては凡ゆる手段を講じ之に反對する決議を示したり(浦鹽二十九日發電)

新加盟許否未決

國際聯盟に加入を希望せる諸國の申請につき審議すべき分科委員會は未だ何等決定する所なし墺太利匈牙利加入に關し北隣國たるチエック、スロバック國は墺太利の加入に反對し希臘、羅馬尼は匈牙利の加入に贊意を表せず但し聯盟總會は新加入希望國を加入せしむるや否やの問題を一括して審議する筈なり(ゼネバ二十八日發電)

米國輸出金銀 日支兩國へ

某所著電=米國商務省の發表に曰く米國より支那に輸送したる金銀塊は金五千萬弗銀四千六百八十五萬弗にて又日本に輸出したるは金八千九百六十萬弗銀四千八十萬弗なり(東京電報)

丁抹仲裁を引受く

丁抹國は國際聯盟の提議によりアルメニャ問題の仲裁者たらん事を承諾せりとの報あり(紐育二十九日發電)

英國覺書を手交 佛國首相レーグ氏へ

二十七日英國外相カーゾン卿は佛國首相レーグ氏に希臘廢帝コンスタンチンの復位及セヴル條約に關する英國政府の立場を辯明せる覺書を手交せり(倫敦二十八日發電)
備考 セヴル條約とは土耳古領土處分問題を規定せる條約なり

シン・フェン黨員放火

綿花倉庫十二棟及び材木貯藏所若干は昨日放火の結果燒失せり、シン・フェン黨員の所爲なりと稱せらる警官數名他殺せられ暴徒若干名逮捕せられたり(リバプール二十八日發電)

佛首相一先づ歸國

英國首相ロイドジョージ氏と佛國首相レーグ氏とは倫敦に於て希臘問題につき第一回の會商をなしたるが第二回目の會合はレーグ氏が廿九日巴里に歸るため一先づ中止となりたりレーグ氏の用向は佛國下院議員一行に對し東方巴里を訪問する佛國下院議員の一行に對し出發前訓示するためなるがレーグ氏は若くは第二日に再び渡英する筈なり尚伊國外相スフォルツア伯も明夜倫敦に到著の豫定なり(倫敦二十七日發電)

佛國內閣の危機 原因は羅馬法王廳問題

佛國首相レーグ氏が急遽巴里に歸還せし原因は(バチカン)法王廳問題に關係あるものにて同問題に關する佛國下院に於ける討論の結果に關し揣摩臆測頻りなるが之がため現佛國內閣の死命を制するに至るやも計り知るべからず中には既に後繼內閣組織の風說すらあり(倫敦二十九日發電)

廢帝の名により 希臘諸法律の發布

雅典發電に曰く今後希臘の諸法律はコンスタンチンの名前により發表せらるゝ事となるべし(倫敦二十六日發電)

三國の攻守同盟

コッペンハーゲン來電に曰くラドブイヤ及びリスアニア兩國は攻守同盟を締結したるが多分エストニアも之れに加はるならんこ若し波蘭のジエルコウスキー將軍がコブノを攻擊する場合にはラドブイアはリスアニアを援助する筈なり(倫敦二十六日發電)

露破條約調印要求

諸新聞紙の探知する所によれば波蘭外務大臣サピーハク侯は露國政府外務委員チチエリン氏に打電して最後の露波條約に調印をなすべき期日を速かに決定せん事を請求したり尚波蘭大藏大臣が辭職したる爲め內閣に變動を起し延いて重大なる財政上の變化を來さんこ予想せられつゝあり(巴里二十八日發電)

排日團組織勸告

加州排日協會のトランー氏はサクラメントビイ紙の社長なるマクラシー氏と共に華盛頓に向け出發せり彼等は國務省當局及び代議士連に排日を說き東部地方にて排日團組織を勸告する筈なり(桑港電報)

大阪遞信局より啓上(下) 矢野義二郎

小包郵便物の增加

近時財界不況の爲め小包郵便物の取扱數減少すべしと思ひきや事實は之に反し大に增加の傾向有之候。蓋し從來大貨物として發送したる荷物を小包郵便物として差出すもの增加したる爲めなるべしと存候果して然るや否やは斷言し得ず候も大阪市內に於て小包郵便の增加したるは事實に候。單に大阪のみならず京都の如きも亦同樣なりとのことを聞き及び申候而して小包郵便物の發送先を見るに臺灣とか北海道とか又は鮮滿宛のもの多く候。之れは料金關係上然るものにして近距離のものは運送便に依るもの多きが爲めと存候

肩書不完分の郵便物

大阪、神戸の各局を視察したる際特に感じたるは內國郵便物は[illegible]に同時に何等[illegible]物の如きも[illegible]だしきは下婢の身分にて[illegible]子宛と肩書し[illegible]配達不能なりしこと有之蓋し其人にして下婢の姓を知らざるもの往々これあるが爲めに候

川口局へ傭人ご婦人

大阪川口郵便局に傭入中なる婦人を採用致居り候に付其成績を調べ候處配達の事務には適當ならざるも取集め事務其他の小包配達補助には大に役立つ由にて大體に於て成績は良好との由に有之候

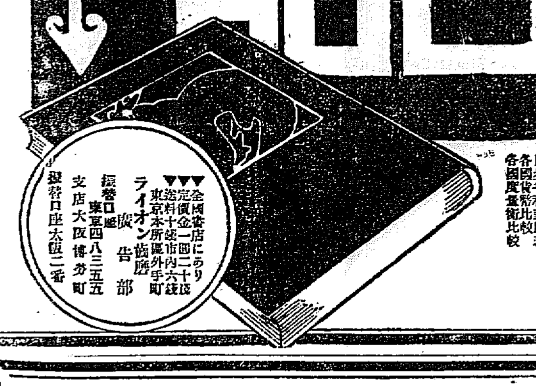
道路の泥濘ご電信配達

大阪市及其附近の郡部は降雨の際道路泥濘にして自轉車の運用困難を極め候ため電報の配達に大に支障を生じ居り候道路の改良は通信の上よりも大に希望致す次第と存じ居り候

高秋吟(第十七回)

秋日 大正九、十一、二

○秋の日や葭枯るゝ空ら眠れる 春樹
○秋日ざし筒ひ出し蠅に消ゆ 紫光
○客の頬にある秋の日を眠り 桐青
○秋の日に蒸まだ青く花捨てし 蘇城
○秋の日や蜂歩るき居る手水鉢 青光
○茁高く影水にある秋日かな 紫光
○秋の日や馬車渡り行く橋境 但人
○秋日うれし芝屑つけて枕諸 橙黄子
○秋の日や己が持の来[illegible]



百科全書を兼ねた

大正十年

ライオン當用日記

內容目次

大正十年略暦 大正十年七曜表 皇室 天皇御歴代 年齡早見表 滿年齡早見表 百年間七曜表 此日記を用ゐる人へ
一月(月ごよみ)(東京近傍遊覽) 相撲の見方
二月(月ごよみ)(東京近傍遊覽)
三月(月ごよみ)(東京近傍遊覽) 香水の選び方
四月(月ごよみ)(東京近傍遊覽)
五月(月ごよみ)(東京近傍遊覽) 食物災害
六月(月ごよみ)(東京近傍遊覽)
七月(月ごよみ)(東京近傍遊覽) 天氣の見方
八月(月ごよみ)(東京近傍遊覽) 夏の雜草
九月(月ごよみ)(東京近傍遊覽)
十月(月ごよみ)(東京近傍遊覽) 歯の間を清潔にする法
十一月(月ごよみ)(東京近傍遊覽)
十二月(月ごよみ)(東京近傍遊覽)
笑爪術 備忘錄 金錢出納錄 人名錄 仕立上り寸法 個人の記錄 家族の誕生日 すきなものきらひなもの 時計の使用法 時計で方角を見る法 家庭常備藥 齒の磨き方 齲齒の痛む理由 寶石の種類 誕生石の說明 誕生石月暦(生れ月による寶石の用ゐ方) 結婚記念式 女の感情 色の名前 色の種類 似合ふ着物と似合はぬ着物 香のたのしみ 花ことば 月の花 花のいろいろ 春の摘草及野草 蝶草及摘方 月の園藝 高山植物 害蟲と益蟲 狩獵鳥獸の名前 新しい音樂 ピアノの解 世界各地標準時比較表 日本都市人口 日本劇場番組 芝居音樂 東西名曲梗概 西洋音樂の話 西洋の話 民間信仰 郵便(內國郵便外國郵便) 電信 電話 爲替 郵便貯金 振替貯金 租税一覽 地租 營業税 所得税 印紙税 登錄税 家督相續税 遺產相續税 徴兵規則摘要 日步年利對照表 各國貨幣比較 各國度量衡比較

▼全國書店にあり ▼定價金一圓二十錢 ▼送料十錢市內六錢
東京本所區外手町 ライオン齒磨 廣告部
振替口座東京四八三五五
支店大阪博勞町 振替口座大阪二番

結核性疾患最新藥 池田注射液

(一)主成分及製法

古來ヨリ喧傳セラルヽガ如ク動物ノ膽汁ハ結核菌及其毒素ニ對シ一種ノ拮抗作用ヲ有スルモノニシテ嘗テ結核藥トシテ應用セラレシ事アリ本劑ハ卽チ其有効成分タルタウロコール酸(C26H45NSO7)中ノタウリン「TAURIN」(C2H7NO3S)ヲ主成分トナシタルモノニシテ各種ノ細菌學的試驗、動物試驗又ハ病理學的嚴密ナル研究ノ結果該成分ノ最モ多ク含有セラルヽ海產軟體動物中ヨリ特種ノ化學的製法ニヨリ純正品ヲ精出シ之ヲ注射液ニ調製セルモノナリ

(二)藥理的作用

從來數百千ノ結核藥ガ試驗管中ニ於テ結核菌ニ對シ相當ノ効價アルニ拘ラズ人體內ニ於テハ其効を見ザルハ蓋シ人體內ニ於ケル結核菌體ニハ一種ノ蛋白樣物質ニヨリテ包圍セラレ藥物ノ滲透ヲ妨グルニヨリ藥効亦何等ノ反應ヲ呈セザルナリ此結核菌體被包物質ヲ能ク溶解スルモノハ實ニ膽汁ニアラズシテ何ゾヤ、而シテ膽汁中其蛋白溶解作用ヲ遂ゲ直接菌體ニ到達シテ之ヲ死滅セシムル主體ハ實ニ「タウリン」及「タウロコール液酸鹽ナリトス、卽チ「タウリン」ノ血液中ニ分布スルコトニヨリテ有効確實ニ菌體ニ作用ヲ有スルモノナリ

(三)適應症

肺結核、喉頭腸結核、結核性腎臟炎、關節結核、肋膜炎、腹膜炎、睾丸、腺病體質、カリエス、痲瘻痔瘻、其他結核性諸疾患ノ進行期、停止期、退行期ニ關セズ的確ノ効ヲ奏ス

今日迄ノ實驗ニ徴スレバ初期ハ勿論第二期患者ニアリテモ五乃至八回卽チ五〇〇八〇CCノ注射ニテ能ク全治ス

尙重患ニハ多量ヲ要スルモ必ズヤ治癒的轉歸ヲ見ルモノトス

東京市芝區南佐久間町貳丁目拾五番地

製造元 池田注射液製造合資會社

電話芝四〇九四・四三九番 振替口座東京四三八五〇番

各地方ニ囑託療院ヲ開設ス一地方ニ一ケ所トス希望ノ方ハ京城囑託院內辻辰太郎宛至急申込アレ

刀圭家各位ノ御注文ハ京城囑託院內出張辻辰太郎宛御申越被下候ヘバ早速御送品仕ベク候

京城府黃金町三丁目 京城囑託院內ニ
出張 朝鮮一手販賣 辻辰太郎

弊社ハ左記ノ病院ニ囑託シ本注射液治療ノ需ニ應ス

京城府黃金町三丁目(永樂町通)
池田注射液 京城囑託院 本田病院 電話二一四四 三番 振替京城三二二八番
池田注射液 釜山囑託院 山口醫院
池田注射液 乘二浦囑託院 大迫醫院
池田注射液 大田囑託院 原醫院
池田注射液 仁川囑託院 壬生病院(電話六一六番)
東京 池田注射液治療院
大阪 池田注射液大阪療院
神戸 池田注射液須磨療院
札幌囑託院 北辰病院
小樽囑託院 望月內科病院
函館囑託院 松風病院

琿春事件二次交渉 帝國廟議決定す

吉會鐵道速成、賠償問題、國境防備の充實

琿春事件に關し帝國政府は第一に支那が徹底的治安維持に努むること第二頭道溝百草溝局子街龍井村等日本人多數居住せる地方に支那軍隊を駐屯せしむること第三支那側にて治安維持出來ざる場合は帝國軍隊を臨時出兵することの三ヶ條を附し皇軍の撤兵に關し支那政府に交渉せる所第三項に對し支那側は異議を唱へ其の間多少の曲折ありたるも大體に於て解決を見たるに付帝國政府は更に第二段の交渉に移り三十日の閣議に附したるが內容は未だ親知するを得ざるも確なる筋の談に依れば

一、吉會鐵道速成

二、賠償問題

は主要條件にして又朝鮮總督府にては此の際朝鮮支那國境防備を更に嚴重ならしむる意向にして齋藤總督は同日午後會議に加はり種々意見を述ぶる所あり大體決定を見たるを以て直ちに支那政府に向つて交渉を開始する由なりと（東京特電）

外務省の間島施設 鮮人取締費計上さる

外務省確定豫算中には在間島鮮人取締費四十六萬一千圓を又領事館琿春分館復舊費十二萬一千圓を計上しあり尚此外安圖縣に領事館を新設する計畫にて此れが所要經費十萬圓をも計上しあり（東京發電）

黃禍防止同盟論

米國上院外交委員長ロツヂ氏は當地に於て演說して『東洋人の移民問題に關して米國は加奈陀、濠州及び新西蘭と協同せざるべからず』と主張し之等諸國が黃禍の危險を感ずるは米國と同一なり就中其危險は濠州に於て最も甚だし吾人は『之等の危險に當らんため各國は同盟せざるべからず』と言へり（桑府二十七日發電）

緩衝國は不可能 哈爾賓露紙の報道

ザリア紙の傳ふる所に依れば露國極東諸州の大多數は共產主義的にして又沿海州は日本の勢力下にあり目下緩衝國設置は全く不可能の狀態にありと（哈爾賓電報）

支那乘氣になる 露支通商交渉進捗

支那の對露通商再開問題は再び發展し非公式交渉進捗し顏總長は大いに乘氣になり居れりと（上海電報）

北京に二大政黨 華北、庚申兩倶樂部組織

安福倶樂部倒れて後は表面上大政黨なく北京政界は甚だ貧弱を呈せるも目下北京にては二大政黨組織され明年四月の總選擧を迎ふべく盛に活動中なり此兩政黨は一を華北倶樂部他を庚申倶樂部と云ふ（上海三十日發電）

米國の勝手だ 上院議員の排日論

上院議員ポインデツクス、スターリング氏は其演說中に曰く『日本人排斥は米國政府が日本と締結する條約に依りて之を決定しないで米國立法議會による法律に基いて決定しなければならぬ』と（桑港二十九日發電）

浦潮議會成行

廿八日開催の國民議會は愈々最後の態度を決定する筈なりしが代表者歸省後此重大問題を熟議する暇なしとて政府側より更に今夜開催の議會まで延期を提議し閉會せり而して浦鹽派の主張は容れられず併も大勢如何ともなり難きを觀念し居れるを以て今夜の議會は多分憲法議會に於て民主政治を擁護せんとの主張の下に條件付にて極東政府の承認を決議するならんと觀測せらる（浦汐二十九日發電）

反赤軍の武裝解除問題 日本の半官的報道

日本側の半官的報道に依れば反赤衛軍の武裝解除は沿海州に戰爭の再開せらるゝ憂ひなからしむる爲めの保障となるものなりと（哈爾賓電報）

時機を待つ カツペリ軍

ルスキー、コロス新聞はカツペル軍降伏の說を否認して曰く同軍はグロデコウオに移り時機を待ち居れるが同軍は同地著の後編成替をなす筈なりと（哈爾賓電報）

軍事協定廢止 發表近し

半官的に報ぜらるる所に依れば靳總理と我阪西少將との間に數回の折衝を重ねたる結果日支軍事協定取消問題は閣議に附せられ居れるが右に就き近く正式發表あるべしと信ぜらる（北京電報）

定例閣議

三十日の定例閣議は午前十時より永田町首相官邸に於て開會原首相以下各大臣出席內田外相より最近外交經過の報告ありたる後內外重要政務に就て協議し正午午餐を共にし午後も繼續午後二時散會せり（東京電報）

兩省豫算

外務省 外務省確定豫算左の如し

經常部　一千八百四十七萬八千圓

臨時部　三百十三萬圓

合計　二千百七十萬八千圓

文部省 文部省十年度歲出豫算總額は

經常部　三千三百九十八萬八千圓

臨時部　二千六十七萬二千圓

にして之を九年度實行豫算に比すれば經常部六百二十五萬二千圓臨時部九百七十三萬圓合計一千五百九十八萬圓の增加なり（東京發電）

農商務省復活豫算

廿八七日兩日の豫算閣議に於て復活を見たる農商務省の豫算額は廿餘萬圓にして其內譯左の如し（東京發電）

一、食糧施設費　八萬餘圓

二、內外貿易調査局新設費　五萬數千圓

三、人事費增加　八萬圓

關東廳補給金 四百萬圓

十年度豫算に於て關東廳補給金は四百萬圓に決定せり之を昨年の三百萬圓に比し百萬圓の增加なり（東京電報）

陸海大異動 主なる顏觸

陸軍に於ては豫報の如く十二月一日を以て大異動を發表する事となりたるが其主なるものは敎育總監大谷喜久藏大將は後備に編入され後任は軍事參議官本鄕房太郎大將に浦汐派遣軍司令官大井成元大將は歸還して軍事參議官に任じ後任は町田經宇中將に決せり（東京發電）

海軍は範圍が廣い

海軍定期進級異動は愈々十二月一日を以て發表せらるゝ筈なるが今回は大將への進級者なく軍事參議官司令長官司令官の異動頗る多數に上り從つて老朽淘汰も亦相當に行はるべし（東京電報）

海軍異動 軍令部長更迭

一日發表の海軍定期異動左の如し（東京特電）

海軍大將男爵　島村速雄

任軍事參議官

海軍大將　山下源太郎

兼海軍將官會議々員

補軍令部長

海軍中將男爵　安保清種

兼海軍將官會議々員

補軍司令部次長

兼將官會議々員

波蘭公使 任命發表

波蘭駐劄全權公使は卅日左の如く正式に任命ありたり（東京發電）

從四位勳三等　川上俊彥

任特命全權公使（一等）

波蘭駐劄被仰附

齋藤總督催宴

齋藤總督は二日實業家八十名を帝國ホテルに四日午前總督府官吏二十五名を常盤に七日新聞通信社長を精養軒に六日陸軍省局長以上八日海軍省局長以上を自邸に招待すべし（東京電報）

財經調査總會 常平倉研究

臨時財政經濟調査會總會は三十日午後二時より首相官邸に於て開會原會長高橋山本兩副會長委員二十餘名出席食糧充實根本策に干する答申案即ち常平倉制度に就て意見を交換する所あり夜に入つて散會せり（東京電報）

總辭職を決議 東京市參事會

卅日午後一時より開かれたる臨時東京市參事會委員會にて市參事會員の總辭職を決議し各員之を承認せり（東京發電）

產鐵解散決議

株主總會の詳報＝社長非解散を力說せしも及ばず＝多數を以て通過

朝鮮產業鐵道株式會社第二回定時株主總會は三十日午後二時より商業會議所內樓上に於て開會せるが株主總數一千六百二十五名總株數四十萬株中出席株主（委任狀共）三百二十七名株數十五萬五千百九十六株にして藤山社長より開會の旨を宣し

一、大正九年五月一日より同年九月三十日に至る大正九年度上半期に於ける營業報告書貸借對照表財產目錄損益計算書の承認に關する件は一括議題に供し岡村監査役より其の報告あり次で藤山社長より會社の營業狀態に就き說明したるが本社設立間もなく彼の財界不況の爲め之が營業を始むるの不可なるを思ひ專ら實際の測量並調査に付き事業を進め金泉抱川等の豫定線に就きては既に完全なる實測を完了せり然るに彼の財界變動に際したるを以て何れも之が安定を俟ちたる上直ちに著手する豫定にて第一回拂込金二百萬圓の內百九十四萬圓は銀行預金になし居れり財界不安の折銀行預金も亦不安なりと思ふ者あるやも測り難きも會社は銀行の選擇は十分になし政府保護の下にある大銀行に預金しあるを以て決して不安なることなきは責任を以て是れを言明するものなり又會社の爲に有利なることを圖る爲に協定預金率よりは高利に預け從きたり殊に鐵道は總督府の同意もあり國家的の事業なれば愼重の態度を以て株主諸君は考慮せられたしと述べ此の間一株主より貸借對照表中鐵道建設費に就き重役と二三の押し問答あり次いで利益處分案の決議に移り原案通り（八分）に決定せり時に午後三時、定時總會を終り引續き臨時總會を開きたるが株主總數一千六百二十五名總株數四十萬株出席株主（委任狀共）一千九十六名株數廿二萬七千三百五十一株藤山社長開會を宣し愈々重大問題なる株主有馬秀雄氏外五十名よりの請求に係る會社解散に關する件に就き議事に入りたるが劈頭有馬秀雄氏より解散請求の理由に就き說明する所あり曰く

先づ予は藤山氏は經濟界の權威者なり其の他の重役諸氏も皆錚々たる人物なり此の點に就き敬意を表す然るに經濟界の急轉直下に遭遇し新設會社の濫造勃興は愼むべきことなり特に救濟策としては整理するなり合同するなり其の必要あるべし會社の財產狀態を見るに今後株主は拂込の力なし仍て積極的に事業を合同するか退いて消極的に解散するかの問題なるが多數株主は解散を請求するものなり 唯予は此の財界の大變動に對して適當の處置を執り拂込金を固定せしめず銀行に預金して現金同樣の預金をなし居らるゝことは藤山社長並に重役諸氏の功勞を多とするものなり

是れ會社の存亡問題なり

右に對して藤山社長は

予は先年臺灣精糖會社の用件を帶び朝鮮に赴き寺內總督長谷川總督等に會見せるが朝鮮統治上鐵道の必要なるを勸められ予も亦其の必要なるを信じ居たり此の事に就ては依賴を受けたること一再ならず數回の依賴を受けたるも予は當時多忙の爲是れを辭し居たり而も朝鮮鐵道は新附の民に生活の安定を得せしむるものにして朝鮮一千五百萬の新附の民の爲にするものなれば國家的の事業なり さて總督府の當局も同一なりし爲係係なく是れを引受けたる次第にして世間の毀譽褒貶を顧る必要なし殊に此の席に列せらるゝ東拓の松平理事の如き朝鮮郵船の原田金之祐氏の如き又は三井の如き有力なる株主あり殊に總督府に於ても產業上の利益を得せしむる爲に將來十ヶ年間八分の補給金を與ふるの決意ある以上は確定と見て可なるべきに非ずや鐵道の如きは最も安全なる放資物なりと信ず是れ予の意見を以て株主の意志を壓迫するものに非ざるも是非諸君の再考を希望するものなりと縷々非解散說を述べたるが次で若林成紹氏は政府の補給金問題は決して確定のものに非ず議會の協贊に俟つものなるを以て決して藤山社長の言を信ずる能はず斷然解散の必要ありと鋭く所込みたり次で有馬秀雄氏より此の事は既に再考の上なれば今更審議の要なし速かに採決ありたしと述べ指名點呼に依り是が賛否を決したるが其の結果解散を可とする者四十四名非とする者十名即ち卅四名の多數株主過半數を以て解散することに決定せり次いで藤山社長より當會社は他の會社と異なり株主の決議に依るも總督府の認可を要するを以て是れが決議を有效迅速ならしむるには重役のみならず株主諸君に於ても倶に是れが解決に努力されたしと述べ次いで若林成紹氏は大多數を以て解散をなしたる以上是れが効力を完からしむる爲め委員五名を擧げては如何にと諮り重役諸君も亦株主諸君も共に雅量を以て委員五名の選定は藤山氏に一任しては如何にと諮り異議なく決定藤山社長より選定の上委員五名を指名發表することゝして午後五時散會した（京城特電）

相當の理由なくては 產鐵の解散認め難し 和田鐵道部長の談

產鐵株主總會に於ける解散決議の電報は予の手許にも達したが內地の私設鐵道法を朝鮮に施行せる條項中會社の解散は政府の許可を要すると云ふのを含んでゐるから產鐵の解散は總督府の容認なくてはその効力を生じない譯である扨て實際問題として三十日の株主總會の解散決議が如何なる理由に依つたものであるか會社の解散許可申請を見ない內は當局として態度を言明し難いが唯產鐵の解散申請は相當な理由を有しない限り之れを許可しない方針であることは云ひ得る 鐵道會社は株主の意志と政府の意志が合致して初めてその成立を見たのである從つて一方の意志のみで會社の存亡を決する大問題を定めらるべきものでない又總督府は相當の理由を認めて產鐵の創設を許可したのであるその解散も亦相當の理由なくては叶はぬ譯である然し乍ら今後の經過は怎うなるかと云ふに實に困難な問題を生ずるであらう予の知る所では解散主張の株主は會社が殆んど仕事をしてないと云ふ事並に政府の補給十年繼續が危まれるからと云ふやうな點にあるやうだが會社の無爲說は實際に於ける會社の事業進行上より見て妄說で又政府の補給は十年位繼續せねばなるまいとの意志を有し今期議會にその法案を出す事となつてゐるそれから理事者乃ち會社の重役には解散の意志はないかに信じてゐる果して然らば解散の主張は事業の執行者に非ざる

多數株主

と云ふ事になるからその關係は輕々に看過し難いと思ふ兎に角面倒な問題で輕々に扱はれぬ

東部西伯利の土着民族（一） 帝國大學講師 鳥居龍藏氏

西伯利と云ふ內に日本及朝鮮と最も密接なる關係を有する者は實に東部西伯利即ちイルクーツク縣貝加爾以東の地方である此所は日露戰爭當時彼の七博士等に依つて盛んに唱道せられた所であるが、此の內に包含される地方は貝加爾を中心として謂ふと西にイルクーツク縣東に後貝加爾即ち彼のセミョノフ將軍が大に雄飛して居た齊多といふ所は此の後貝加爾の首府である夫れから東には黑龍沿海樺太の各州がある。而して茲に特に注意しなければならぬのは地理學的から云ふと北滿洲も東部西伯利の內に包含されることである。何故かと云ふに河の流れを見ると盛京省即ち南滿洲の遼河は流れて渤海灣に注ぎ夫れから朝鮮に在る鴨綠、豆滿兩江の流は日本海若くは黃海に注いで居る。然るに滿洲と云ふと彼の松花江並びに齊々哈爾附近を流るる嫩江の如き大河はアムール河に注ぎ又興安嶺の西なる海拉爾を流れるアルグン河なども黑龍江に注ぐのである。然うして見ると滿洲と云ふも吉林省黑龍江省等の滿洲は政治上は別として地理學的より云へば取りも直さずアムール河流域であるから隨つて東部西伯利の內に包含される譯である。東部西伯利と云ふが如きは朝鮮より見れば恰も對岸の火災の如く何等關係もないやうに思はれるか知らぬが事實は決して然うでない。何故かと云ふと夫れは人種問題民族問題、極東の問題等の多くの意味に於て朝鮮と最も深き關繫を有つて居るからである。而して亦將來に於ても此の西伯利問題は朝鮮と密接なる深き意味を有ち來すのである本題と餘り關係はないやうであるが彼の蒙古問題の如き亦然りで極東は漸次狹められて來る殊に奉天吉林との間の鐵道が完成された曉に於ては蒙古と地形よりするも亦人種民族の上より云ふも然るべきである。而して又東部西伯利に在る人種民族の話は取りも直さず朝鮮過去の民族人種の史蹟となり或は又夫れに依つて昔の朝鮮の有樣も髣髴として想像し得られるであらう況んや夫れが東部西伯利には朝鮮人移住者が極めて多いと云ふ實あるに於てをやである。

朝鮮補給問題 尚決定せず

總督府豫算は齋藤總督、原首相、高橋藏相の三氏の間に折衝中なるも補給額は猶決定に至らず二十九日も總督は原首相、高橋藏相を訪ひたるが決定迄には數日を要すべく大藏省を經て閣議に上程さるゝは十日過ぎとならむ（東京特電）

評議選擧手續 京畿道發表

京畿道管內に於ける道評議會員候補者及郡の學校評議會員候補者の事務取扱手續は三十日附發表せられたるが前者は十二條後者は廿一條より成り道評議會員の場合は府尹及び面長に於て選擧は少くとも選擧前三日前に於て選擧の場所時日選擧すべき候補者の數を府面協議會員又は朝鮮人たる面協議會員に通知すること當日に於て道評議會員候補者選擧場又は學校評議會員候補者選擧場を記したる標札を掲ぐること投票用紙は所定の樣式によること投票錄の調製投票顚末記載法及び無効投票を規程したるものにして無効投票の規定左の如し

一 正規の用紙を用ゐざるもの

一 現に道評議會員（學校評議會員）の職に在る者の氏名を記載したるもの

一 投票に記載したる人員選擧すべき候補者の員數を超過したるもの

一 選擧すべき候補者の員數を內鮮人別に定めたる場合に於て各人員選擧すべき候補者の員數より超過したるもの（本條は道評議會員の場合にのみ適用）

一 府選擧人の何人たるかを確認し得べきもの

一 府選擧資格なき者の氏名を記載したるもの

一 府選擧人の氏名の外他事を記載したるもの但し爵位職業身分住所又は敬稱の類を記載したるものは此限りにあらず

新協議員巡り（七）

暫く沈默せん 韓翼敎氏談

予が今回府協議員に就任したることに就ては何等かの抱負と意見を有するものとして能く質問せらるゝが現下の私には何も無いと答ふるの外なし正々堂々將來の意見を開陳するものもあれども私としては問題の貫徹を期せられざる意見を述ぶるは甚だ好ましからず勿論人として何等かの抱負と意見を有せざることなし唯予は現場に出席して問題の機會に觸れる毎に抱負を披瀝して其の貫徹に力めんと欲するもので協議會開會前に於て之を論述するは全然好まざる所なり要するに平常は不言不語の態度を堅く守して一銀行員たる吾職務に專心努力せんとす

金利引下可なり

財界の大勢は好轉模樣 漢城銀行專務 韓相龍氏談

最近內地より歸城せし漢銀專務韓相龍氏は曰く

金利の引下說は段々世間で八釜しくなつて來た內地の金融界の趨勢並に朝鮮の事情から考へて此際ある程度の引下げは當然であり又事實上必要と思ふ內地の大銀行間では

地方銀行

の預金に一定の限度を附し限度以上の預入は無利子にしやうとの議もある位だが借て利下の實行は內地有力方面の所見に聞くと年內に不可と云ふに一致してゐる勞來春になりはすまいかと思ふ內地財界の所見の一端を申上ぐれば吾財界の國際關係は實に牢乎たるものがある二三の例を擧ぐれば保有正貨は政府と日銀を合して十億七千萬圓に上つてゐる此迄五六億圓に達すべしとの豫想あり本年の對外貿易は現今までの通計入超三億五六千萬圓であつて十二月の出超を豫想し並に貿易外の

受入勘定

を控除すれば結局一億五六千萬圓に留まるであらう果して然らば大した問題ではないのである對支貿易の如き頗る順調一月以降十月までの累計出超一億八千萬圓となり昨年同期に比し六千萬圓を增加してゐる又米國大統領の選擧も共和黨の勝利となり加州排日問題も日米紳士條約の締結で解決好望と共に一種の安心を財界に與へてゐる更に國內關係の財界を見るに日銀の貸出高は五月の八億五千萬圓より一億七八千萬圓を遞減し又同業者の日銀に對する預金は一億五千萬圓を算してゐる全國交換所組合

加入銀行

の預金を見るに十月末四十七億圓貸出し四十六億圓で前者は九月に比し三千五百萬圓を增し貸出しは略同額を減じてゐる所有々價證券は一億に達した全國の商品滯貨は八月末頃に五億圓と云ふ數字であつたが昨今は十二三億圓に消化され綿絲も砂糖も銅も雜貨も落付商狀を示してゐる其他色々の事情は因となり果となり財界の人氣は讚に一變し著しく緩和氣分を認むる成程一部には極端な悲觀說もあるけれども何れも認めてゐる從つて越年後は形勢も餘程好轉するだらう

銀塊新安値 綿糸激落す

倫敦銀塊は一日入電四十三片八分の三と入れ新安値を示したるが大阪綿絲はその影響を受けて各限激落し當限は二百六十圓臺となれり

京株重役會

京城株式現物取引市場にては二日樓上に重役會を開き當期決算案を附議すべきが初期配當は創立費の償却その他の關係上八分內外と見て可なるべく配當金は小口株數多き關係より見て一株五十錢若くは六十錢と定むべく多分五十錢ならん尙ほ當期出來高累計は十萬二千株なりと

前田少將動靜

朝鮮憲兵司令官前田少將は二十八日午後零時列車にて來新一泊し廿九日新義州憲兵分隊の檢閱を行ひ後ち安東縣を視察し午後義州に赴き義州憲兵隊其他を檢閱し三十日再び新義州に來り泊日午後六時より官民有志の主催にかゝる第二課總館の歡迎會に臨み洞の上午前發の列車にて南行せり（新義州）

評議候補選擧運動開始？

京城府選出の道評議員候補者選擧に就ては京城府協議員間には藝に協議員に當選せる志岐信太郎大村百藏の兩氏を推さんとの意向ありとも傳へられ又一部の協議員は協議會員外の有力者を物色し既に其方面に運動を開始したるに對し上記二氏は益々運動に着手したりとの說あるも大勢の形勢は尙混沌として俄に斷じ難き狀況なり

郵便局長會議

京城郵便局に於ては日正午より京城郵便局に於て內各郵便局長を召集し事務の打合せを開く由なるが打合の綱は主として年末歲首郵便の激增に對する處置方法なりと

仁川期米新甫

米の二限新甫は十八圓四十發會中限に比し三十□

實銀異動

朝鮮實業銀行にては左の異動を行ひたり

清州支店長　小倉

本店勤務

清州支店長　本店司事　久保

尙ほ近く新設すべき支店長には芦田卓藏氏に內定

中議團歸城

視察中なりし中樞院議員團一行二十三名は三日夜歸城すべし

公會私會

▲府協議員顏つなぎ 京城府協議員は一日午後六時より京城ホテルに於て顏合せをなし目前に迫れる豫算の審議に關し種々協議したり

人事消息

▲下村宏氏（臺灣總督府總務長官）一日午後八時南大門著列車にて來城朝鮮ホテルに投宿の豫定

▲三井榮長氏（總督府技師）滿洲出張被命

▲小山一德氏（中央試驗所技師）同上

▲牧山正德氏（總督府技師）同

▲深谷留三氏（同）同上

▲岡崎哲郎氏（總督府事務官）支那及滿洲へ出張被命

▲切山篤太郎氏（辯護士）咸興出張中の處二十八日歸

▲峰尾香三郎氏（食銀取締役）下仁川日歸任

寸塵

間島地方の人は我軍の撤兵を恐れるため支那巡警を志願し姿を暗ます手段を講じてゐるやうな▲ところが支那官憲は斯る事情を知つて彼等から金品を略取せしめては巡警に採用するが二三日經つと何んとかかとか口實を設け免職し次から次とやつて欺して居るので流石の不逞鮮人も愛想を盡かして困つて居るとか何方も何方だ▲國際聯盟に於ける日本委員の眞摯なる態度は各國委員間に賞讚を博し殊に伊太利羅馬の國際法學大會委員は一千九百十四年に於て眞面目に研究調査を遂げたのは獨り日本あるのみと稱揚したのは此の事であるが斯て日本が國際的に其の信用を博しつゝあるのは洵に以て喜ばしい次第である

朝鮮青年百五團體で 愈よ蓋を開けた 聯合會の創立總會 結構な其目的、其事業

朝鮮人青年會聯合會創立總會は一日より三日間に亘り鍾路青年會館に於て第一日は發起總會第二日は創立總會第三日は豫算總會を開催すべきが同會の憲章草案によれば同會は（一）朝鮮人の各青年團體を聯合し（二）各地に此等青年團體を組織し且其の發達を圖るを目的とし（一）各青年團體の相互親睦に關する會合を隨時開催し（二）風紀改良（三）雜誌及必要なる圖書の刊行（四）講演講習又は夜學の開催（五）青年就學の便宜を圖り（六）運動會の開催（七）產業團體の組織勸獎及之れに對する調査研究（八）生活改善に關し必要なる諸般事業等を行ふものにして其の機關として庶務部、財務部、敎務部、產業部、社交部等を置くべく各地の三十名以上の會員を有する團體をして加入せしむる事となり而して今日迄參加せる團體は大邱青年會以下百五團體に達せり

府の生產調査

組合金庫變更 上加府許可の指令ありたり 十一月三十日附

京城地方法院判事 韓國鍾

總督府醫院醫官兼學務局 有馬

不逞代表大會

天氣豫報

[illegible]一日平均百八十六噸なる[illegible]額に達せしが中旬は僅に十分一
が十六日より廿三日迄は千三百[illegible]百卅三圓の金に換算すれば僅に
九十九噸一日平均百五十五噸に十二圓五十五錢となり撫順炭一の三三百八十噸に過ぎず右は運[illegible]ならんか

[illegible]八日着任三浦領事代理と交替に[illegible]付支那官憲を廿五日招待せり

[illegible]申込者と[illegible]て新架設數十個に對する[illegible]開通申込者は四十七名の多數に[illegible]

[illegible]松商議所[illegible]立會加入申込者全員を招集し公[illegible]高き逸品多數ありたり出席會員[illegible]

[illegible]務課長舟田法學士は二十五日[illegible]州、二十六日新義州に於ける學[illegible]後六時より大同館に開催せり（平壤）

[illegible]兩氏の送別を兼ね二十七日午後六時より料亭由良之助に於て同窓會を開き

防穀令の影響
邦商にとりては致命傷
だが結局自縄自縛か
三井安東縣出張所主任談

去る十二月二十日より東三省に於て小麥、小麥粉、粟、高粱、包米、豆餅等の防穀令を布くに就ては目下滿洲の各地に於て其の利害關係に就いて極力論議されつゝある模樣なるが安東縣に於ても各方面に材料を蒐集し專ら安東市場の蒙る利害得失に就き研究中にあり今安東領事館の依囑により三井物產安東出張所の調查したる處なりといふを聞くに去る大正八年七月より本年七月に亘る一年一箇月間に於て安東縣經由內地及朝鮮に輸出されたる品目數量及び價額を示さんに

▲小米（粟）百五十萬一千六百二擔價額九百二十五萬八千七百卅八圓▲高粱三十九萬五千九百二十八擔價額百五十五萬二千百九十六圓▲包米十八萬五千二百七十擔價額七十三萬五千二百九十九圓▲小麥十萬四千六百八十二擔價額九十四萬五千百八十四圓▲麥粉六萬七千八百二十二擔價額二十九萬五千四百三十二圓▲總價額千二百十萬六千八百五拾圓餘

にして前表に示すが如く雜穀中輸出の大宗は粟にして高粱是に亞げり然れども此の現象は一時的のものにして即ち大正八年以來內地及び朝鮮の米價は非常に騰貴し且つ朝鮮の一部は未曾有の大旱魃なりし爲め米の代用及び不足分糧を補充緩和する爲め粟高粱の朝鮮輸入を奬勵したる結果に外ならず然るに昨今にありては日本及び朝鮮共米價は益々下落し最早雜穀を輸入して米價を調節するの必要なきに至りたるを以て今回の防穀令も其の蒙る打擊は頗る輕少なるべし然れども在滿雜穀商にして雜穀の取引を專門としたる日本人に對して殆んど致命傷的の大打擊たるを失はず防穀令の結果は此の外にありては東三省の農民は却つて金融の途杜絕する爲め農民の困憊多大なるべく長く繼續するに於ては自縄自縛の愚を見るも知るべからず（安東縣）

平壤歲末財況
殖銀支店長談

反動來、恐慌來の聲に一擧奈落の底に陷りたる如く不景氣風に懾伏し盡したる一般經濟界が本年末の難關を果して無事に通過し得るや否やといふ問題は均しく大方關係者の最も危惧し警戒し居たる所なりしが最近內地の

綿絲强氣配
或は金利關調等の關係より一般的に稍樂觀の氣味にて幾分銀行業者の梗塞の手も緩みたるが如くなれ共漸く經濟關係が世界的になりたる今日到底內地のみの事情にて復活或は回復し得るものとは斷じ得ざるものがある樣である平壤としては外觀の輪奐の美に對して大體の商取引が極めて消極的で今日の狀態にては寧ろ生產市場と云ふよりは一つの消費市場と云ふ方適當なる程退嬰的內鮮主義で其爲か黃金時代にも左程の利潤を蒙らざりし代償として今回の

恐慌來にも
比較的打擊を受けざりし程度に於ては余鮮一であると思ふ由來平壤を以て生產市場の如く目せらるるものは黃海道の一部沙里院又は安州定州の如き廣漠たる奧地を控へて居る結果であるが近來運輸交通の便が開くると共に各地方々々に金融機關備はりて昔日の如く平壤市民の手を經ざるも直接其れ々々取引きの途開けたる結果平壤市場に出廻る奧地產物は極めて少數にして西鮮一の大都會と稱しながらも貿易額は僅に一千萬圓前後で本年は諸工事等の勃興に依り稍膨脹したりとは云へ一千五百萬を超ゆる事はあるまいと思ふ斯る情況にて兎角

商況不活潑
なると共に投機的思惑者流の商人も極めて少く綿絲布類の如きも唯京仁方面の支店分店にて若干取扱ひたる外十著の商人に大口に取扱したるは一二の人に限られ他地方に比して極めて平穩であつた樣に思ふ貸出し金の情況に就ては他銀行は別として當行では所謂

好況時代の
今年の一二月頃に比較すると約三分の一の減少を來して居るが豐作と內地財界の幾分回復したるやの聲に近來兎々荷動きあり爲めに資金の運轉も僅少ながらある樣なれば此の情勢にて推移するとせば先づ平穩なる歲末を越すを得るであらふ云々（平壤）

電力送電問題と撫奉間電鐵

奉天に於ける送電及び撫奉間の電鐵問題は屢報道さる、所なるも兎角支那側との交渉行き惱みの態なりしが送電問題は既に買收し第三發電所は目下建築工事中にて大正十年十月頃には竣成すべく更に其の附近に二萬四百餘圓を以て變電所を建築之れ又十年十月頃までに竣成せしむる筈にて先づ一千五百基の電力を送る豫定にて尚ほ十五年頃には三千四百基を送電の筈なり次に

撫奉電鐵
問題も奉天運輸事務所長兼炭坑運炭課長大數賀鉦太郎氏之が解決を容易に出來得る總ての設計と計畫とを立案し四期に分ちて着手し既に二期まで實行せるより近く送電と共に四期計畫たる撫奉電鐵も解決を見るに至るべし（撫順）

財界稍安定
昨今の平壤

平壤商業會議所にては財界變調以來兎角市況不振を來し歲末決濟期を目睫に控へ居る事とて之が恢復等に就き種々調查中なりしが先般米各組合各團體等に對し之に對する應急の措置及希望等を問合せたるに殆ど全部金融梗塞に起因するもの、如く此の際金融業者の考慮を希望するとの旨の回答のみにて一般財界としては當時に比し稍々落付たるもの、如しと（平壤）

殖鐵の完成期
今月上旬頃

沙里院載寧間の殖產鐵道にては其の後着々工事進捗し來る十二月上旬迄に全線路の布設を終り同十四五日頃總督府の檢查を了し廿一日より一般營業開始の豫定なりと總して開通式は時節柄嚴寒の折柄とて來春四五月頃に延期し更に安岳線の起工式と併せて擧行する由なり（沙里院）

慶南棉花出廻
卅萬斤に達す

慶南にては一般に棉花賣惜みの狀態を持續しつ、ありしも米價意外に安値なる故棉花を放賣し結果急騰を凌ぐの傾向を生ぜし結果出廻り旺盛を極め既に買收斤量三十萬斤以上に達せり（晉州）

屑の籠
青年諸君に告ぐ

今や諸君の爲すべき事業は、何れの方面にも充滿す。若し農業を以てせば、蒙古の平原、西伯利の曠野、北部日本の未開地、さては南米の廣大なる農業地方、悉く進取的勤儉力行の農夫を歡迎せん。林業も亦多くの人物を要す。吾人が思慮なく伐せし樹木は、之を育成せざるべからず。未來の林業家は、其の木を伐るに當りても、亦能く其の選擇に注意せざるべからず。工業の方面に於ては、世に工業的學術の需要なしといふことなし。看よ、無數の瀑布と急流とは、變じて動力となり、既に東京、橫濱、大阪、京都等の大都を照らし、幾百幾千の電車を動かし、且つ無數の工場に其の動力を供給しつゝあるにあらずや。他の仕事も亦同一の機會に富む。鑛山、土木、建築、造船等、苟も文明的技師の裁決し處理することを要するもの、悉く社會の歡迎する所ならん。商業の頭分亦常に青年の爲めに開放せらる。世界的商業は今漸く初まりたるのみ。世界は商業に依りて融和せらる。商業に依りて國際間に寬容生じ、寬容に依りて平和あり、共同の責任あり。商業は世界大の物品交換なり。商戰の將卒に要するもの、勇敢に死するにあらずして、謹く活くるに在り。就中取引を守ることの誠實に在り。活潑の範圍は、醫學に於ても日々に擴大するを見る。醫學は今や嚴正なる學術の基礎に立つものにして、目分量、匙加減の時代は既に去りたり。社會は人體に關する健全なる知識ある醫師を要し、醫學の基礎たる諸學術の方法に習熟する醫師を要し、患者に對して誠實ある誠實の醫師を要す。法律の職にも亦、親切にして公正なる辯護士を要求す。純正の辯護士は、當に多くの三百代言に代らざるべからず。法の學は詭辯を以て法文を弄することを敎ふるものにあらず。法の學は衡平の學なり、衡平の適用なり。未來の法律家は、法廷の辯論を以て能事と爲すべからず、宜しく訴訟の必要より關係當事者を救ふ者ならざるべからず。總ての文明國に於て、法律家はまた立法者ならざるべからず。政治なる務は、政治に於ても亦增加せざるべからず。吾人の要する所は、賢明、清廉、國士の資ある者なるが故に、政治の範圍に於て特に人物の必要を感ぜざるを得ず。吾人は眞に國民の行爲を指導する人を要するのみにあらず、又暗愚なる行動を防止するに人物を要す。一時に多數の民衆を牽引する政策は、往々未來の爲めに却つて危險なることなきにあらず。吾人の要する所は、民論に反抗しても、尙ほ主張を貫ぬく士なり、必要に應じては輿論をも服服する底の人物なり（未完）

學議選擧資格
其筋に認可申請

大田學校組合にては十一月廿七日組合評議員を召集し組合規約第五條の組合費五圓以上の納稅者に選擧權を與へるとの條項を削除し組合員全部に對し其資格を與へる事を決議し直ちに其筋の認可を得る事となれり（大田）

鎭南浦汽船の終航期

鎭南浦汽船の終航期は昨年は觀線十二月十五日津江浦線同十八日着二浦線同二十一日なりしも本年は例年に比し暖かなれば各線共十二月二十日以後なるべしと（鎭南浦）

襯衣一枚で働く
人物を養成する
慶南水產傳習所

統營郡統營港に設立せられたる慶尙南道水產傳習所は大正六年の創立にて約四ケ年の星霜を經たり此間漁撈科は道內一般漁業者中より壯年の者を選拔し鰤、鯛、鱈、太刀、各種延縄及各種一本釣を傳習し常に海上に於いては技術の修習を行ひ一面製造科は製品の技術を傳習し來り各三、四ケ月間の短期養成に止めひたるが大正九年度より組織を變更し普通學校卒業生を收容し滿二ケ年間に於て水產に關する應用學科を敎授し併せて漁撈、製造、養殖の技術を實施に就きて指導傳習を行ひ卒業の後直ちに獨立經營の能力を附與し水產に關する諸會社、水產組合、漁業組合等の技術員たるに適する人材を養成するの目的に出で主として堅忍不拔の精神を涵養することに努力し卒業後社會に出で、も襯衣一枚にて自ら働くことを好む人物の養成に專心中にして定員五十名の生徒は近く充實し漁撈科の如きは近く石油發動機船を備付し動力による進步的漁業を傳習する外間違なる釣漁業より打瀨網、巾着網の如き改良せられつゝある漁具漁船を設備し又製造科はボイラーを利用する罐詰、機械、發動機を利用する蒲鉾製造を始め簡單にして而も需用多き鹽乾魚の製造より輸出水產物たる海參、乾鮑、開鱈等の傳習を實施し大に其面目の躍如たらしめんとす尙近く統營港內の埋築地約一千坪を買收し實習用堅固なる一建築物を造り有爲なる技術者の養成に努力すと

全南叺檢查成績

十月中の全南道叺檢查狀況を聞くに受檢總數十四萬七千二百四十枚其の成績特等十枚、一等四萬九千百九十枚、二等六萬一千六百四十三枚等外三萬六千三百九十七枚にして檢查所別受檢總數左の如し（光州）

木浦三二、〇〇〇枚△榮山浦四三、九〇〇枚△羅州一四、〇〇〇枚△松汀里五三、七九〇△光州八、四六〇△長城二四、七〇〇

正金敷地決定

奉天正金銀行出張所は城內に店舖を置き居りたるが近來新市街方面との關係漸次密接となり且つ各方面より見て同行の活動を要求する聲盛なるより近く新市街に店舖を設くべく計畫中の由談候補家屋としては浪速通り商業銀行支店跡及び奉天證券信託會社跡等數へられつゝあるが多分證券跡に決定するなるべく城內の分は派出所として經營せらるべきかと（奉天）

沙里院慈惠醫院敷地
略決定す

沙里院慈惠醫院敷地は候補地三ケ所に選びたるが今回市南方普通學校附近の地點一萬坪に略決したるもの、如く堀井總督府技師は郡守永田署長と共に廿八日實地の檢分をせり（沙里院）

學校敷地を寄附
迫間房太郎氏から

釜山の富豪迫間房太郎氏は本年還暦の賀を記念す可く釜山中島町二丁目の所有地二筆合計千六百四十一坪を釜山府將來の學校敷地として學校組合へ廿九日附釜山府宛寄附の申出を爲せり（釜山）

大田の電話

大田郵便局に於て本年度大田市內に架設すべき電話數は十四個なりしが內八個は既に公共團體に架設を了し內六個は市內一般に對して架設すべきも加入申込者百餘名に達しをるを以て既設者を除き特設希望者二十六名に對し廿九日午後一時より抽籤を行ひたり

清州市場の
市區改正落成式
廿八日から向ふ五日間
空前の盛況を極む

清州市場市區改正の爲昨年九月市場期成同盟を組織し爾來工事に着手中なりしが此の程全部竣工を告げたるに依り去月二十八日竣工式を擧行し引續き祝宴を催したるが美形連酒間を斡旋し盛會なりき閉會後市場中央に設けある高櫓より五石の餅撒きあり數千の群集殺到して頗る壯觀を極む又餘興として二十九日は相撲大弓會夜に入りては活動寫眞等あり山崎郡守は相撲優勝賞として馬一頭を寄贈せり三十日一日も同じく二日は相撲と餅撒三日は呼物の大綱引ある筈にて千貫に餘る百間の大綱には郡民東西に別れての大綱技定めて壯觀を呈するならむ（清州）

菓子及び菓子屋（三）

菓子は、其の文字の如く、上古は果實のことで、人の製へた菓子といふものは無かつた。今の水菓子といふものばかりであつた。後漸く米、麥、豆の粉を捏ねて、甘葛、柿の粉、若くは飴を用ひて甘味をつけたのが出來るやうになつたが、誠に粗末で、不味いものであツたらしい。甘葛は一名を『あまちや』と云うて、深山に生ゐる蔓草である。其の莖より汁を取つたり、其の葉を煎じて、煉りて水飴のやうにしたものを、今の砂糖の代りに用ひたのである。其の後支那より砂糖の輸入せらる、やうになツてから、少しは美味、菓子も出來たらうが、砂糖の價の高かつたので、王侯貴人の外は、之を口にすることもなかツた。德川吉宗（八代將軍）の享保十三年（西曆一七二八年）琉球より甘蔗を移植するに及びて、上下一般に始めて砂糖を知り、之と同時に、菓子の製造も、著しく進步した。其の製法は支那より傳はツたのが多く、足利の末より織田、豐臣時代にかけては葡萄牙や、西班牙より傳はツたのも少くない。卽ち饅頭、羊羹などは支那流で、ボーロ、カステイラ、金米糖、有平糖などは西洋流である。長崎のカステイラは、これ從來有名なものであツて、今猶ほ一種獨特の風味を存する。余は昨年の暮より新年にかけて、長崎、佐世保に遊び、賦々美味カステイラを賞味した。但し何地共、良いカステイラを製へる菓子屋は一二軒しか無かつた。（未完）

仁川武道大會
各部委員決定す
競技方法其他は各部で

仁川體育協會主催我社仁川支局後援の仁川武道大會擧行に關し打合せをなすべく去る二十九日午後七時より仁川山手町青年會館に協會側より若松會長初め各理事新設の撃劍、柔道、弓術の各部新役全部召集先づ會長よりの挨拶に次で渡邊理事の經過報告あり終つて新設各部の役員選任の件に移りたるが本會現在役員と等しく第一次役員にて總會に附し得ざるを以て細則に依り左記諸氏を理事會の承認を經て會長より推薦せり

撃劍部
理事野田重秀、幹事品田峰太郎、山奧村博、横山千足、委員澤能濟、木到岡部爲雄、深堀市次郎、小野順時、清川惣平、安永寅次郎、松岡聖治、平井清治、三神

柔道部
理事增田定吉、幹事吉田仁右エ門、春武源吉、庄子盈治、委員横田龍馬、藤井良順、深見寅一、岩本道三、佐々木善三、白石洋也、北御門誠之助、神宮朴、三神

大弓部
理事川井田彌三郎、幹事太田忍、橋口勘七、清川三郎、岡宗一、委員坂田爲市、中村次平、齋藤金助、野田戶吉、吉木善助、小松鐵也、道宗後治郎、宮尾左利、手島定治、永井聰

競技方法其他に就ては各部毎に適宜集會して番組の編成を了し協會に報知すること、し來月七日迄に出演者の番組に決し午後十一時三十分閉會せり因に當日は午前九時集合十時三十分會長開會を宣し正十時開始の豫定なり尚出演者の辨食は各自持參されたしとの事なり會費は別に徵收せず（仁川）

撫順では服裝改良
の宣傳をしやうこ改善會を組織

南滿撫順に於て今回小學兒童の體育を主とし延いて一般の服裝改善を行ふため服裝改善會を組織し委員は今後の實行方法に付き協議を重ねたる結果當分の間毎週土曜日午後一時より小學校に研究會を開き各自の研究せる作品を以て之を一般的に研究批評し而して委員の研究されたる結果を一般會員其他に發表宣傳することゝせり一方實科女學校にては今回ミシンの實習を開始せるより目下撫坑土木課囑託ゲッフェルト氏の夫人の嘱託を請ひ鐵本社に申請せることろ此認可を得て同夫人の快諾を得共に毎週月曜日一回實科女學生に裁縫其の他の教授をなさしむることゝなり最も夫人は日本語をよく解せるより當日は服裝改善會委員も出席見學する筈にて之等に依る研究事項は學校より經へ一般生徒の父兄に報告且つ希望者には實科生に實習裁縫せしめ以て改善の實を擧げ學校と共に宣傳實行に努め其の改善進捗を計ることいふ（撫順）

家屋と土地の交換
何れ調査の上決定か

大田面にては既報の如く十一月二十七日協議會員を召集し無償讓渡を受けたる舊警察廳舍を學校組合財產たる屠獸場附近の土地百二十三坪と交換する議を附議したるも該交換に對しては調查研究の上決定する事にして散會したり（大田）

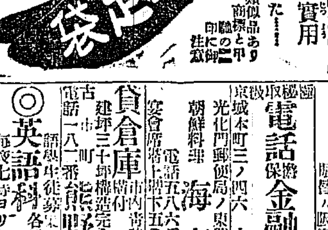
○鎭南浦の支那人　鎭南浦の支那人人口は總計九百二十一名にして內男八百十二名女百〇九名なりと（鎭南浦）

別珍足袋
◆體裁よく實用向として確に天下一品

在來の足袋
と云へば白か紺に一定されて居つたが、昨年頃から別珍足袋なる色足袋か流行り出して殊に近來は、道行く人の殆ど悉くが、其服裝に相應はしい色足袋を穿いて居る、東京に於ける別珍足袋の流行は實に素晴らしいものである、勿論着物の好みも年々に派手になつて、到底普通の色を使つたものでは滿足して居らなくなつたが、此派手な

着物に相應
はしいものは、實に此別珍足袋である、これは從來歐米でも、婦人小兒の服地として、非常に愛用されて居るが、肌觸りがよく温かい點は毛織物以上である

優美なる體裁と實用經濟の三拍子揃つた……



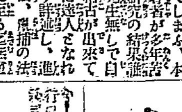
類似品あり 商標と印に御注意

見本一足 一円二十錢
東京市日本橋區本銀町 松井商店 振替東京一萬五千番 電話本局二八二八番

而して色も白紺の外茶、紫、青、桔梗、利休鼠、海老など、約十五種類もあり年齡や好みに應じ、自由に選擇が出來る、從來の足袋は生地の性質上光り過ぎたり、色が滿足に出來なかつたのであるが、この何とも云へぬ上品な色が出來、而も鮮やかである、足袋を美的に造り上げた事に於て、

別珍は優美
別珍は確に天下一品の特色を持つて居る、而して堅牢の程度は普通足袋の三倍以上である、見た目にも綺麗にもよい實用足袋で、正に東京名物の一逸品である、値段も其品質や耐久の點から比較したら、米子や足袋より遙に廉い、

◆活かすも殺すも思ひのまゝ
圖解 柔道極意
◇どんな小男でも弱い男でも忽ち達人となる稀有の名著◇柔道の極意さへ極めて居れば喧嘩や角力は云ふ迄もなく力で向つて來た奴にも空手で勝つ事が出來る從つて世の中に何も恐い者が無くなつてしまふ。本書は著者が多年苦心と研究の結果師範無しで自宅でも稽古が出來てスグに達人となれるやう詳述し、最新進步の法、捕縛の法、護身術、人工呼吸術に至る迄無遺漏四十餘項に渡つて眞の極意を公開し、一々圖入で誰にも解るやう細述した現代青年必讀の書である



附錄 一大水泳術
▼定價金五拾錢 百名限り特價八拾五錢に割引す▼ハガキで申込次第代金引換送料共九拾錢で急送す▼前金郵便爲替切手代用
東京市小石川戶崎町 錦文堂 振替東京三五一八〇

京日案內

◇うちみ ◇くじき ほねつぎ 研究の爲め上京中の處歸任候 ○旭町一丁目上 ○電二五九五番 仁壽堂

解雇廣告 安立顯藏 從來弊店員トシテ使用致居候處今般都合ニ依リ解雇致候間此段廣告候也 尙右ノ者ト何等關係無之 京城本町二丁目百十番地 取引先諸彥 現物商仲買人 店主 高松清太

春川行に賃貸車 京江自動車商會 電話一八三三 京城黃金町二丁目百拾五番地

糸卸 ビワコ屋 大阪北區下福島三丁目 振替大阪五七一三五 附屬品及センコ製造

電話金融 保證取扱 其他官吏商人へ金融 京城本町三ノ四六 大和屋質店 光化門郵便局ノ東門隣り

朝鮮料理 海東館 宴會席料 電話五八六番 七二五番

貸倉庫 建坪三十坪構造完全 市內古市町 電話一八二番 熊野商會

◎英語科 毎夜七時ヨリ九時マデ 太平通一青年會館學校 各級補缺編入 日語學生徒募集

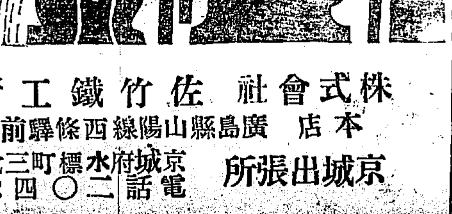
女子外勤有給 募集 京城黃金町三丁目 有隣生命支部 市內勤務志望者ハ履歷書携帶來談

◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

高島易斷 鑑定に應ず 當る事は保證 たまつてすわれば頭だけで何用でも判る成功を望む人は來れ 京城本町四丁目二十四番 平井天祥

金銀
地金高價 德力本店出張所 京城明治町一ノ五九 電話一五七二番

歲暮大賣出し
○明太の子百匁金拾五錢より各種
○カラスミ、カラスミ粕漬
○明太の子カラスミ同粕漬糀漬
○本場みかん、塩魚、干魚、類各種
右卸賣直段ヲ以テ小賣ニ提供ス
珍味品
貿易商 京城南米倉町市場 岩城商會 振替京城一〇〇六番 電話長八四一番

灌漑用諸機械製造販賣

株式會社 佐竹鐵工所
本店 廣島縣山陽線西條驛前
京城出張所 京城府水標町三七 電話二〇四六

飯の冷ゑぬおひつ
特許出願中
僅かの火を入れ置けばいつでも炊きたての同樣の温かいおいしい御飯がめしあがれます
冷えた御飯がまずく胃腸で暖めた御飯は臭くなりますが飯の冷えぬおひつの御飯は味が變りません
京城龍山は持參致します 說明書御入用の方は御申越下さい
朝鮮發賣元 卯尾崎武三郎 龍山漢江通り十三（郵便局前向） 電話長七五三番

市中の年末氣分

十二月に入つた昨日今日から府内は滅切歳晩の氣分が漂ひ始めた本町通りは二三丁目通が一齊に軒端に松を飾つたり歳晩大賣出の旗幟やら店飾りやらグッと歳晩氣分を見せて呉服屋の店頭などは所謂藏拂ひ藝文拂ひ、さては冬物新着等に人氣を呼んで御婦人連の足を止めてゐるが行人は皆年末らしく忙しい足取で往來してゐる昔例に依る本町通りの聯合大賣出の福引景品も一日の午後から美しく飾立てられたやうである。此他にも明治町通りや旭町通りは歳晩の店飾が夫々美しく女子供の心を唆るやうなケバ〳〵しい色彩を漂はせて愈々歳晩に入つたらしく感ぜられてゐる。

物騒極まる上海
強盗團の自動車が一輪車を追跡して
四千弗入の箱を掠奪

去る二十日午後四時頃であつた上海戈登路を某銀行の送金人附添ひ一輪車に現銀四千弗入りの箱を積み某紡織會社へ送致する途中自動車に乗れる

強盗團の二隊に追跡され一輪車の側にその自動車を乗つけ三名の兇漢現れ短銃を差つけ有無を云はせず四千弗入りの箱を强奪し自動車へ積込何處へとなく逃走した椿事があつた送金人は戈登路署に駈つけ右の事情を申し述べ警察にては署員を各所に急派し自動車の行方を捜索したが遂に

發見する事は出來ずに空しく引き上げた被害者の訴へによると自動車は一千四百三十一號で霞飛路に居住する某外國人所有のもので、運轉手及び同家使用の料理人は一味徒黨の連累者として引致され二十二日朝會審衙門に廻されて爾來取調を受つゝあるに關しては警察は何等の發表もして居ないが

聞く處によると同日午後天津路に於ても同一方法にて强盗行はれ被害金は一萬二千弗の多額に昇つて居るそうである察するに同一强盗團の仕業であらう冬季に入れる上海の市中は愈々物騒千萬となつた(上海)

首相暗殺陰謀犯人
懲役五年

元陸軍砲兵二等銃工長新潟縣生れ伊藤伊三郎(三五)が原首相を暗殺せんとし爆彈を製造し本年五月八日芝公園の首相邸に向はんとし取押へられたる爆發物取締法違反事件は東京地方裁判所刑事第二部田山裁判長係り岩松檢事立會にて審理中の處三十日午前十一時懲役五年に處する旨言渡しありたり(東京電報)

龍川の不逞團

卅日午前二時頃龍岩浦警察署搜索隊は平安北道龍川郡內中面に於いて不逞鮮人團の巢窟を包圍し團長たる元內中面長李光漢以下四名を逮捕し自動拳銃一挺丸二〇四及び數萬圓の軍資金納入告知書領收證等數點を押收した(龍岩浦電報)

發動機七十臺が廢物同様

佛國より購入したるスバット、サルムソンの重油發動機七十臺は所澤に格納せられしまゝ廢物となりたらんとしつゝある事判明し當局にては大いに狼狽し目下所澤支部の職工をして修理に着手せしめつゝあり(所澤發電)

日午前十一時懲役五年に處する旨言渡しありたり(東京電報)

不逞鮮人團の前途慘憺たらん
日本軍に根據地を覆されて
孤立無援の境涯に
苦しめる彼等の現状

高麗嶺並に會寧附近鮮人知識階級の我討伐行動に對する感想左の如し(會寧電報)

朝鮮が日本に併合せられて以來外國の同情厚く爲めに獨立團の行動には必ず外國の諒解と後援を得て互に連絡し居るものと確信し居りたるに今回日本軍が間島に進出し獨立團の討伐に著手するや間島全般に亘り獨立團は根據地を覆へされ其の運命は正に風前の燈火に等しきにも拘らず外國より何等の後援を受くるに至らざるは今迄獨立團が外國と連絡ありとか露國過激派と共同動作を爲すとか宣傳し居りたるは金錢募集の手段に外ならず外國の後援亦期待するを得ず殊に從來比較的獨立團と共通的氣分濃厚なりと思考せし支那すら日本軍と共同討伐の目的にて數千の兵を間島方面に出動せしめたりと云ふ結局獨立團は孤立無援に陷り悲慘なる最後を遂ぐるに至らんと

家庭と婦人

贅を盡した構へ
觀たまゝ聞いたまゝ……
朝鮮貴族夫人の生活
李完用伯邸を訪ふの記

朝鮮貴族の婦人の日常を見たいと李完用伯邸を訪ふ。久しく通らなかつたうねり〳〵の朝鮮街渡鮮後日の淺い方にはすべてが耳目を驚かす事だらうが、いくらか年を經た私にはさまで

目を驚かすには足りなかつた。それでも單純な日本街に起居する事とて途すがら一二異様な感じがしないでもなかつた。御國言葉で辻々に物賣り歩く聲はさすがにあはれに、また小さい路次を横ぎる時、酒糟の生あたゝか相な香が私に異様な感じをさせた。しかしこれが私が朝鮮にきた當時第一番に知つた臭ひ……私はふと過去十年前の

酒幕の榮へた黄金町あたりの事をも追想してゐるうちに、早や伯爵邸についた。廣壯な建物、數知れぬ常盤木のこんもりとした植込みの中を縫ふて、本館裏手の所謂內房男子禁制の夫人の居室を觀る。こゝは純朝鮮式で室內のものすべてが時と費をおしまぬ豪奢ぶり、先づ第一に目にうつるは飴色の蠟石床か將た鼈甲張りかとうたがはれる斗り

見事な温突傍には古への唐錦に見るやうな御國の風景を描いた纖長の屛風のほとりに燃たつ斗りの緋のしとね、夫人はそれに端座されて居た。その容姿よ[illegible]背景の屛風のそれとよく調和が保たれて居る。其他目に觸るゝものすべて青貝のちりばめたるあり、まだ[illegible]ならぶ用簞笥はつや〳〵と丹精の程偲はしむる。斯うして

高貴の婦人は數多召使に侍かれ年らこの奥深い一間に起き臥し[illegible]の婦人と[illegible]は古き物語りめきたる想像をうつされるのが常であるよし。夫人は私の初めての訪れを快くむかへ內房一般を開放せられ再會を約された(婦人記者)

猩紅熱と死亡率
餘病は大抵腎臟炎
他の傳染病に比較すると最初より輕いとは云へぬ

猩紅熱に就いて(二)

猩紅熱の潜伏期は通常四乃至七日であつて此間は特に認むべき變りが無いから患兒は殆ど健康にして

兩親も氣が付かない然るに突然固有なる症徴を現はすことになる、症徴の順序は多くは數回惡寒戰慄を來し熱が發する小兒は多く嘔吐を伴なふ熱は多く四十度以上に達し小兒の如きは熱の爲に

屢々痙攣を起す此症状が表はるゝと如何に頑固な人でも遂に病床に横たふる事となる此の時に注意するのは多く同時に扁桃腺炎の症が表はれて來ることである、從つて咽喉の疼痛を訴へ嚥下の困難を覺ゆるのだし甚しきに至つては頸部の淋巴腺が腫れて壓迫すれば

疼痛がある凡そ一日を經て固有の皮膚の發疹を來し皮膚は紅くなつて恰も猩紅狀を呈して來る此の發疹が表はれる熱が又上り凡そ三日熱が下らずして他に惡徴なければ九日乃至十一日の經過で全く

平温に復するのである此間、舌は[illegible]猩紅熱特異の覆盆子様を呈することになる恢復期に向へば皮膚の落屑が起つて來る、手足の皮膚の如きものは恰然、手套、足袋の如くなつて皮膚が脱落する、此の

三回目には多く[illegible]無い、以上の如[illegible]ものなるも猩紅熱の[illegible]腎臟炎が續發するのであるがこの腎臟炎が續發せば疾病の經過は長くなるものであるが普通本病の經過が探れるものに先づ五週間位と云ふことが[illegible]ばならぬ尚ほ猩紅熱には症病の形の異なつたものが少くないと云ふことも承知し置かなければならない本症は

生命上危險があるか否かと云ふことは本病の如何に多く關係があるが他の傳染病と異なり先づ始めより輕いと云ふことは云ひ難く大に注意を要すべき症狀である但し流行の狀況に依り一定し難きも先づ死亡率は平均八プレセント位である

猩紅熱小康
二ケ月が大事 でも之からの

[illegible]頃から下火の兆があつた京城府內の猩紅熱も當局の注意と各自の保健防疫の注意とで最近多少小康を保つてゐるらしく十一月中の患者[illegible]平均は日に三人弱なり[illegible]三四年の猩紅熱大流行に徴して十二月一月が最も猖獗を極めたので本年も今後の二ケ月が大事であると衛生當局[illegible]

守備隊慰問

京城守備隊慰問の爲め左記の通り贈與方本社に委託ありたるに付其手續を爲したり

一金貳拾圓　旭町三丁目二五　鶴澤紋糸

一金拾圓　同　野澤吉[illegible]

お寺と教會

▲妙心寺の大接心會　來る十二月八日は二千五百有餘年前釋尊が雪山に於て六年の間難行苦行を積み曉の明星を見て豁然大悟『一切衆生は悉く佛の智慧德相を具有す』と絶叫して宇宙の一大眞理に覺醒された記念日である。日本國中の禪林に於ては十二月一日より同八日まで臘八の大接心と稱して晝夜打通しの大修行をすることになつて居るが市內長沙洞妙心寺別院に於ても一日より八日まで午後六時半より每夜大接心を修される筈であるが五十餘名の陸海會員に五名の雲水打混りての大接心は必ずや一大法戰場を演出することであらう。尚ほ陸海會にては禪道佛法に志ある人の入會を歡迎する由

義太夫

▲榮代人と勝彌　いろは會の若手中でこの二人が將來有望だと云ふ評判があるが兩君の缺點を擧げると勝彌は何處でも語らうとするのと榮代人は無理に腹から聲を出さうとし[illegible]

佛國々立劇場で上演の逍遙博士の二大作

人作『新浦島』及び『役の行者』は佛國の國立劇場グランド、オペラ座、コメデー、フランセ座で[illegible]らぬ爲佛國作曲家の手では日本の歌謠の曲[illegible]其作曲中に入れる譯には行かずればこそ[illegible]『浦島』の一部は日本樂壇の天才[illegible]たる近衛公の令弟秀麿氏に其作曲を依頼する事となり[illegible]ふ、尚吉江氏二年餘の苦心になる佛譯『新浦島』及び『役の行者』[illegible]頁の紙面を埋めて居たと(東京)

出品百餘點

京管局[illegible]友會寫眞部主催印畫品評會は既報[illegible]の出品あり且當日技術の優秀なるものに對しては一等より十等迄の賞品を贈呈すべく尚伊藤講師の特選に係るものは特賞を呈[illegible]五十六點に達したるが右に對し先づ出品者の互選に依り一等より十拾等迄の品階をなし終つて伊藤秋畝氏の講評ありたる後[illegible]流(大森)六等盛夏一景(內藤)七等[illegible](從井)八等農家の秋(星野)九等[illegible]

○府內の小火

廿九日午後七時頃[illegible]府內[illegible]雜貨商金永植方から發火したが南大門消防隊馳せ付け[illegible]

○京管局の家族娯樂會

京管局[illegible]友會倶樂部にては目下入京中の[illegible]紀念として金二十圓同校同窓會の基本金に寄贈された

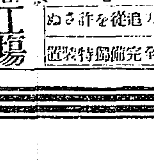
好評……全部賣切れの處本日新荷着
京城日報　每日申報　社長　加藤房藏著
朝鮮騒擾の眞相
○定價金壹圓五拾錢　○郵稅六錢
(目次)序言○相互の不諒解○朝鮮人の無理解○民族的觀念の活動○民族自決の說○親族關係○賴米思想○第三者の觀察○所謂武斷と文治○眞正の自覺○實力養成○政治熱○宣教師に囑す○內地から見た朝鮮○新政と朝鮮人○提携扶持○朝鮮人の將來○結論
發賣所　東京神田神保町　東京堂　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

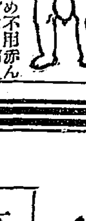
購買入札
木材(赤松)
右購買ス詳細ハ十二月二日朝鮮官報又ハ當部ニ就キ承知セラルヘシ
第二十師團經理部

大懸賞募集
課題　明治神宮の鎮座祭行はれて一入大帝の思ひ出を深ふせしむ[illegible]大帝のことを追ひ奉りて[illegible]將軍と[illegible]家併合を斷行した共に無き人がある。明治の御代の大忠臣として數ふべき人であるが誰人ですか當てゝ御覽なさい
賞　正解者には左記の品を提供す　乃木帽子五百枚　ラクダ袴卷五百枚
解答　官製郵便ハガキにて住所氏名明記の上此の廣告の日より向ふ十日間以內に申込あれば先着順に正當解答者の中より當選者に通知す
主旨方法　明治神宮の奉祀せらるゝに際して明治の御代に於ける偉大なる將軍の何人なるやの課題は敢て家庭の爲にあらずして業務の發展を企圖し前記課題正解の大弊店[illegible]送附者には第三次當選者に提供する事とす
東京市淺草區須賀町二番地　東和堂　振替東京四〇〇八二番

店員入用
一、年齢十六七才より二十才迄二名
一、簿記に經驗ある者　年齢二十才以上二十五六才迄二名
仁川本町　貿易商　河野本店　電話二八番

約束手形無効廣告
振出日　大正九年十一月廿六日
支拂期日　同十二月廿六日
金額　一千五百圓也
振出人　日岐久吉
受取人　篠崎寅之助
右無効に付此段廣告候也
大正九年十二月一日　日岐久吉

繩
我國の盟主革命的大改正機　特別廉價卸賣　自家用者にも特價賣取引
千歲號　貨取引　當分

他の追從を許さぬ　完全完備特許裝置
稻扱も賃取引す　大阪難波藏原町　千歲製産工場

新案品　小便袋
この大九式ゴム製は永久の使用に堪へ自由自在入口に辨あり小便逆流せず不潔汚さぬ世話なし殊に小便に蒲團汚さぬ

商品乳吞子におしめ不用赤ん坊つれて外出に最妙なり病人便器いらぬ乳兒用一圓八十錢小供用一圓六十錢大人用二圓中ハガキ御注文の節男用か女用か申添あれ
類似品あり大九式に限る　代金引替送る
東京市神田區表神保町一〇　日本製藥株式會社器械部

仁川　佐藤病院　電話四〇九番
院長　ドクトル　メヂチーネ　佐藤小五郎
入院應需

石炭各種　直移入貯藏豐富
鳳山炭　特約一手販賣
官營煉炭　開城以南一手販賣
東亞商工株式會社
京城府古市町四拾參番地　電話長(九四)二(七)(七)(二六九)　大邱出張所　電話長三四二番
木材　貯木豐富　製材所完備
セメント　小野田工場産
石灰　特約販賣
建築材料　各種取揃便利供給

短期公債募集
五分利國庫債券(を號)募集相成候ニ付御希望ノ向ハ當店ヘ御申込相成度候
發行價額　額面百圓ニ付九十二圓五十錢
乘換應募　大正十年一月十五日期限英國政府四國大藏省證券ハ額面金額ヲ以テ拂込金ニ代用ス
申込期間　十二月二日ヨリ四日マテ
償還期　大正十四年三月一日マテ
現金拂込　第一期十二月九日五圓(保証金振替)　第二期十二月十五日八十八圓五十錢
日本銀行京城代理店　朝鮮銀行

◎十二月一日から
迅くて―安くて―乘心地の良い
市內乘合自動車が
南大門驛前で
一般の御乘客をお待ちしてゐます

南大門驛から市內各町に至る賃金表

朝鮮銀行前　二五、大漢門前　二五、朝鮮ホテル前　三〇、明治町敎會前　三〇、本町通永樂町交叉點　三五、總督府前　三五、[illegible]

黄金町南大門通交叉點　三〇、[illegible]

三歲未滿にして別座席を要せざるもの並には無賃手小荷物は二貫目迄拾錢一貫目を增す每に五錢

京城永樂町二(電話二一七七番)
鷄林自動車商會營業部
南大門驛構內出張所

吉江孤雁氏が佛譯し

近衛秀麿氏の作曲

早大敎授吉江孤雁氏が巴里滯在中に佛譯した坪内逍遙博士の二[illegible]が未だ廣く歐米に紹介されて居[illegible]して居たが今度協議成立し『新[illegible]』来春グランド、オペラ曲には多[illegible]一派の音樂家間で其作曲に苦[illegible]して居たが如何せん日本の音樂[illegible]係者間では[illegible]らず之を遺憾こ[illegible]內容にも遜さかるこ云ふので[illegible]終了したので近衛氏は最近歸[illegible]に韓地の上專心其作曲に著手し[illegible]を掲げ近著の一巴里新聞は『役[illegible]者』の批評ご讃辭を以て約一[illegible]を蒐集し其他參考品こして多數[illegible]同好者の傑作に係るもの約百點[illegible]

寫眞品評會盛況

二十八日龍山京管局社友會場にて催されたる寫眞品評會は出品總數百[illegible]け左の如くにして中には玄人の[illegible]摩するものあり[illegible]一等朝鮮水[illegible]二等階(同)三等夕[illegible]四等[illegible]閑(河合)五等[illegible]林の[illegible]

○遊廓の豫防注射

本町署では[illegible]廿日午前九時から新町遊廓貸座敷業者全部を呼び出しチブス豫[illegible]は今回[illegible]名松次郎氏に[illegible]

本社主催婦人見學團畫報　地雷爆破(右)ご野砲の砲擊演習(左)

聯隊長の講話に感服

日出學校 廉林女敎師談

貴社の婦人見學は誠にいゝ御催しで私共の小さい頭からはどこがどこといふ事なしですべてのものが非常に意義あるやうに思はれます第一こういふ處は個人々々では一寸見られない所でこれからも度々催されて欲しいと思ひます今日は貴社の圖に加はりましたが歩兵營内を見學してまいりませんでしたが第一番に聯隊長の御講話に戰時中の兵士の事の思はれて涙ぐまれました現にこの御婦人間にも兵營生活にある御子持ちもありましようが大方はやがてその母となる御婦人だらうと思ひますが是非一度は一般の家庭の婦人にしらしめて置く必要があると思ひますこれからもこんな社會見學の益々盛んならん事を祈ります

馬の訓練に感心した

先年亡くなつた前元町小學校長鈴木校長未亡人は見學の感想を語られました

『私は兎角見聞を廣めろといふ事は實に必要だと思ひますですから御社の社會的見學等は誠に結構な催しで止むを得ない限りは參加して居ますが何分家庭を持つて居るので二回不參の事もありましたが今日は參加が出來て幸福でした今日の見學で一番興味があつたのは馬の敎練ぶりであの馴れきつた樣子からおさなしさ加減しみ〲兵士方の平素の御心の樣が思はれましてつい人の子の敎育と思ひ比べて思ひをはせましたほんとうに馬も人もその眞の心には變りはなからうと思ひます素直さも意地きたなくなるもみなその指導する人の心の純不純によりますからどんな場合でも眞からの愛を以て子供を導きたいと思ひます日頃からわかりきつた事ですが今このお馬を見て一しほ痛切に頭にきざまれましたそれにまた私共も男の子を持つて居ますので遠からず御奉公の時期もまゐりましようがそんな時『斷なきゝわける丈げでよろしいから多少の話相手になりたい』と思ひます

電車の延長と改善

修理完成する 發電機も近く

京城電氣株式會社が愈々一日より義州通線の開通を行ひ四臺の電車を運轉して一般の爲めに利便を與へることゝなつたがこれに關して最近多事な木本專務は語る『京電も色々批難の的にもなつて何時も乍ら市民の期待に背き勝ちであるが最近は會社としても優善の誠意を以つて總ての事業に携はる方針で御覽の通り 電車軌道 も一大修理を斷行して其上各乗替場所には柱にそのシンボルを揭げ黄金町、南大門通の乗替場所にはボツクスを設置して運轉常務の圓滑に運んで行く事を努め又義州通、南大門間の電車開通も會社としては利得を度外視して只その不便な地にある市民の爲めに盡したことで一般に乗替切符を使用されれば賃金には更らに變りはない譯である、尚先月十八日破損した一千キロの 發電機も 北後川崎造船所に大多和技師と倶に應急修理を行ふ爲め内地へ送つてゐたが其の機械も完全に修理されて來る三日頃に下關へ到著するとこになつたので遲くも十日頃には現在の故障も改修される見込である』と云つて時々は京電の意嚮も諒として欲しい口振りである

こ如才なく言放つてるたが會話を續けて『又一方には釜山の迫間房太郎氏との 訴訟問題 もけりの付かないものがあるので僕ら私が以前から關係してるので此度の宗伯爵に對する問題と云ふのは此の二ッ位のものです』と云つて居るが一日の午前伯爵を京城ホテルに訪問するこ不幸にして午前中から外出のことであつた

對馬の宗伯爵が謎を持つて來た

時節柄注意されて居るが渡鮮の眞意が判らぬ

朝鮮とは最も密接の關係をもつてゐる對馬の宗伯爵が突然去月廿九日の夜入城する事となり、然も其前觸れが『御忍びの旅』とあつて、茲に 神經過敏 な人々の凡ゆる臆測を買ふ事となつたが或る者は元寇の亂の當時を回想して何處から怎う繹を手繰つたものか宗伯爵のその昔對馬の守たる時からの因縁でもあるらしく『その以前釜山は伯爵の領土であつた、それを今日伯爵が取り返しに渡鮮されたもの』こ 伽噺の やうな噂をするものもあり又的確な證斷を以つて『朝鮮にある或る訴訟問題である』と云ふものもある。そこで記者は宗伯爵と深い關係のある李王職次官國分象太郎氏を訪問して其間の消息を訊かうとすると氏は『いや、いや』と 微笑を浮 べて何にも問題はない筈です、只此度伯爵の渡鮮は一般人の迷惑を避けかつてほんの微行と云ふことになつてゐるそれも內容は高橋章之助氏が詳しい譯で李王家の方にも深い關係のあることで或ひは非公式の挨拶に位は來られるかも知れません』と逃げる樣に高橋章之助氏を訪ふと恰度折柄裁判所へ——それから總督府へ……それから京城ホテルへ……、京城ホテルには 宗伯爵が 隨行員二名と滯在中であるので高橋氏が會ひに行つたことが判つたので話しを向けると『いや實は今晩政務總監邸で朝鮮貴族と晩餐を與にされ近く李王家でも朝鮮貴族と御會見の筈ですが要は時節柄朝鮮と最も密接の關係を持たれる處の伯爵が法文を離れて 內鮮融和 の實を擧げられんとすることにあるので此の問題が果して如何なる結果を生むかそれは豫斷されないので今後の御行動に此の問題が進捗したならば其節はあなた方の御依介にもなることで[illegible]』と口の緘秘した。

一年志願兵入營

見送りの旗幟と群集に送られて

朝鮮新聞社あつて本年始めて入營する朝鮮龍山留志願兵は一日朝、[illegible]大路を織ると見送りの群集に包まれて元氣よく各隊に入營した特別隊は遙かに少數だが歩兵隊は七八七九兵に十名を越すの盛況で[illegible]入營氣分が漂つた各隊では隊長の訓示及び宣誓式があつてから一年志願兵は何れも一樣に兵隊姿となり[illegible]

一日から開通した西大門義州通間電車

龍山原頭に砲聲轟きて漢江々心に水柱躍る

鐵騎長劍を閃めかして相搏ち砂塵天に冲する地雷爆破 樂しかつた特科隊の見學

午後一時から各隊の攻防演習を觀戰すべく晝食が濟むと間もなく新練兵場の東南方高地に集合した午前中八百餘の見學團員は午後になつて各學校長職員生徒其他の遲刻團員が續々來集して 千二三百名 に增加した午後一時騎兵の衝突戰が開始され劍影閃き敵味方の入亂れて奮戰する光景は眞に實戰を觀るやうに壯烈であつた、騎兵の戰鬪が終ると直ちに野砲兵聯隊の砲擊が開始せられ砲聲殷々天地に轟き耳を聾く許りである 戰鬪中止の 喇叭の吹奏せらるゝや蘇生した樣に『アー』といふ聲を放つ間もなく機關銃隊は直に戰鬪を開始し八門の火蓋を一齊に切つたので豆を煎るやうな銃聲に數千の耳は兩手に捲はれて只だワイ〳〵と喚めくのみ戰鬪が終ると共口同音に『嗚呼恐ろしかつた、愉快だつた』と讃嘆の聲を連發した。五分間の休憩を與へず更に工兵隊の 爆破演習に 移り漢江の水中に敷設した水雷は轟然數十尺の空中に一大水柱を現出する壯快さ、此の凄じい光景は婦人達をして如何に驚異の眼を睜らしめたであらうか又爆彈の大威力を如何に痛感せしめたであらう!何れも驚嘆の聲を放つのみであつた引き續き木切爆發、地雷等の猛烈極まる爆發の光景を見せた。時に午後三時半であつたそれから一同は今日の壯快なる演習に 談話の花を 咲かせながら滿鐵圖書館を指して向つた同館で茶菓の饗應があつて後敎育普講を觀覽して隨意解散したのが午後四時半頃で『愉快だつた、斯んな結構な催しは毎月あつて欲しい』と云ふ言葉が團員の口から洩らされて居た

安東奉天間の長距離電話竣功

取引に至大の便利

豫て工事を急ぎ居たる安東奉天間の長距離電話線架設工事竣功したるを以て十二月一日より安東、大連、旅順、奉天、長春間の長距離電話の開通を見るべし當日は午前九時安東、奉天、大連の各商業會議所會頭は電話にて祝詞を交換し開通式に代ふべし通話料は安東を起點として奉天九十錢大連一圓六十錢旅順一圓六十五錢長春一圓五十七錢なるが此結果は各地この取引に至大の利益あるべしと期待せらる(安東特電)

仙人か俗物か(一)

冠岳山上の老鮮人 文士、詩人、書家、畫伯 世を遁れた彼、何者?

漢陽公園に登り南方に向つて眺むれば龍山練兵營地から漢江の流れを隔て、遙に入道雲の如く巍峨として空高く立つ山がある之ぞ壬辰の役(文祿の戰)高麗恭讓王の臣、徐甄、趙狷、南乙珍の三傑が 李朝の天下 に服するを潔しこせず此の險山に立籠り慷慨悲憤李朝を呪つた冠岳山である。首都京城の地勢から見れば俗に南漢山ご稱する有名な三聖山及び戀主臺の連峰で、永い史蹟は世に秘られて即ち世に知られない名所古蹟が甚だ多いその海拔一千二百尺の 斷崖絶壁 八合目に老鬱亭々たる中に數寄を極めた庵に浮世と隔てた遁世の仙人が住つて居る

× × ×

冠岳山脈の一たる三聖山に三聖寺と稱する二千年來の古寺がある、位地は三聖山の八合目で三百餘坪の平地に建立してあるが寺院は西北方に向ひ正面は遠く仁川沖合を眺め右に漢江の流れと南山及北漢山を俯瞰して右に[illegible]京城市街を望み前面一帶は宛ら一幅の 山水畫を見 るやうである。後方は數百尺の斷崖絶壁で幾百歲の老松が奇石怪岩の間を縫つて居る寺院の周圍には自然の岩石を彫刻して佛像又は羅漢石の六尺平面位のものが此處彼處に在る。泉水は岩石の間から滾々と湧いて居る。三聖山は 昔三聖人 が開いたので三聖山と名づけたと云ふ傳說がある。三聖寺と云ふのは今を去る二千年以前に於て一、二、三の三箇寺を建立したものが壬辰の戰役(文祿役)に二箇寺全燒灰燼に歸し現存せる一箇寺を稱する由來であると云ふ。寺院は堵に蓮王殿、宮寢樓其他二三の庵と僧房等五六棟で何れも 千餘年經 た古代の建造物に係るものである、世俗を遁れた仙人の住家は寺から南方に約一丁餘を距て、緩やかな阪路を迪つた所で宛も一葉の椅子を据置けるを見る如な地形の所である

戀から罪へ

花奴の美貌に溺れ約一萬圓を横領して費消 俄大盡=實は月給二十圓の雇人

島根縣安濃郡波根西村當時當[illegible]町材木商鶴田幸次郎方雇人三井英吉(二三)は南山町花房の藝妓花奴[illegible]或ひは主家の帳尻を誤魔化して四百八十八圓餘を横領した罪へと落て行つた英吉は本年五月頃花奴の容貌に魅られたが因果で其後は足繁く通ひ詰め同月廿一日には主人不在中 二千圓の 小切手を偽造して現金が手に入つた處から早速花奴に現金二百圓指輪二百八十圓金時計翡翠の根掛け銀製狐皮夜具其他下駄等に至る迄買與へ夫婦約束を交して[illegible]こころとなり一方英吉は早く[illegible]八百十四圓及春本に千三百九十三圓百圓に五百三十一圓等を散じ人も羨む樣な料亭に入浸つて居た。彼は月給僅二十圓で斯くも連日の豪遊[illegible]町署の川畑刑事の睨[illegible]

長春へと姿を晦した

[illegible]も之を覺つて去月下旬龍山から長春へと姿を晦した(こ云ふ)花奴は龍山迄見送つたと云ふ[illegible]が滿洲な刑事は[illegible]取押へ方を打電したので英吉が長春署司法主任に逮捕押送されて來た。英吉も花奴も仲々の剛情者で容易に吐かなかつたが動かすべからざる證據を突き付けられて遂に自白するに至つたが英吉は右の 犯罪を蔽 はんが爲めに安東縣某が貸與した如く數通の偽電を發して居た花奴も呼出されるゝ事三度如何なる強情も遂に吐かされ[illegible]れた英吉は一日檢事局へ送らる

鮮銀券と米國紙幣の變造

浦鹽で發見

浦鹽にては鮮銀行兌換券五十錢の變造が盛んに行はれ屢々發見せらるゝを以て我が憲兵隊にてはこれが調査に努力し居れるが折柄最近に米國紙幣一弗を五弗に二弗を十弗に又日本紙幣五圓を十圓に各變造行使せる者を發見せられつゝありと二十九日歸國者某氏は語れり(敦賀電報)

舊練兵場の跡に三百餘軒建つ

住宅難緩和されん

去月二十二日より向ふ一週間に亘つて京城府が行つた漢江通舊練兵場跡の貸地は全部で九十一筆あつたものであるが貸附入札の結果頗る好成績を以てわづかに五筆を殘しただけであつたが此の五筆は前記競爭入札落札の土地貸下誓約を終了した後來る十日頃再び殘筆に對する貸附入札を開始する筈であるが右貸附土地には表通りへ全部二階建の建築を行ひ總て向ふ六ヶ月中に起工すべきもので自然茲に三百有餘軒の新築家屋の出現を見る事で今後住宅拂底の聲もいくらか緩和されることになるだらう

晝強盜

チゲを伴れた 監獄醫の留守宅を襲ふ

平壤八千代町二十七監獄醫廣永次郎方に二十九日午前十時四十分頃留守と見込を付たるものか白晝にもチゲを伴なひたる賊忍び入り女帯三筋女物袴一枚男物銘仙羽織外八點を窃取逃走したるが附近にて不審こ認め警察に電話にて通知したるより直に檢事現場に出張したるも既に逃走の後にして府内に非常線を張りたるも三十日午後迄には何等手掛りなかりしと(平壤)

金州觀光團入城

金州民政署主催内地觀光團一行十二名は内地の觀光を終り二日夜來城京城觀察後三日夜安東に向ひ同地にて解散すべし

○山岸天祐堂觀劇會 本町一丁目山岸天祐堂主山岸福太郎氏は新築の浪花座に開演中の大阪若手歌舞伎一座出演を擧さし四日午後五時より浪花座に京城の官民數百名を招待して自祝の意を兼れ御禮の觀劇會を催すべしと

演藝

▲浪花座 二日より四の變り狂言左の如し ▲一番目曾我大磯赤澤山より敷皮間替並▲二番目赤穗義士赤垣源藏徳利別の段 重なる役割 ▲曾我十郎祐成(藤之助)▲富川召使月小夜女房磯菜(銀杏)▲富川常三郎、岡崎四郎義實(國太郎)▲原三郎、千葉助常胤藤與五郎(鶴之助)▲伊藤祐親、梶原景時[illegible]▲河津三郎[illegible]高下條平助(多見作)▲御所五郎丸、陸山與左衛門[illegible]▲赤垣源藏[illegible]▲曾我五郎時致(眼君)

▲黄金館 二日より新寫眞差換え御勉めの爲め一等席時計以下の福引景品を呈し毎週最終日開催し當選番號は新聞紙上にて發表すべしと▲新派悲劇『狐甲組』全四卷▲泰西人情劇『男を殺す女』全五卷▲舊劇『烈女の千代萩』全五卷

○內地人看守募集

一、十二月十日午前九時當所及各監獄並ニ分監ニ於テ採用試驗ヲ執行ス詳細ハ當所若クハ監獄ニ就キ承合スベシ

大正九年十二月 朝鮮總督府看守敎習所

代議士高柳淳之助先生著 金錢利殖法の極意 實價金六十五錢

本書の著者高柳代議士は小學卒業後無一文にて上京し苦心[illegible]今や百万の富を積み少壯三十八歳にして衆議院議員に當選し[illegible]

貯金研究社出版部

御賣出

大正十年 懷中、當用日記 懷中日記定價金三十錢以上 當用八十錢以上

大正十年 御家計簿 御家庭寶 定價各二十錢 送料各二錢 卸賣十部以上

百人首かるた 一組定價一圓七十錢 送料十八錢

百人首取法 トランプ遊び方 流行歌 福引集 隱し藝 各冊五錢以上

時に勉強 京城本町二丁目 ウツボヤ書店 電話二三五二 振替京城二二七

資本金 貳百萬圓 諸積立金 三十五萬千圓

株式會社 朝鮮商業銀行

京城府南大門通一丁目十九番地 電話長六八一番・五五八番・一五五〇番・三五〇七番 振替京城一六三四番

銀行長 趙鎭泰 支配人 岩崎虎次郎

京城南大門支店・同本町支店・利川支店・同東大門支店・仁川支店 内地、朝鮮、滿洲、青島、哈爾賓、上海、滿洲の各樞要なる地に爲替御取引の便有之候

羅紗界之明星

弊店は從來舶來羅紗專用の主義にて[illegible]御希望に副ふ可く[illegible]の特殊ラシヤの販賣開始仕り候以來幸に四方の御歡迎を受け個人製品の完全と實用向に[illegible]價格低廉耐久舶來に遜色なく[illegible]御吟味あれ

(特價表) 肩裏頭巾付 將校マント

寸法 一尺五寸 金五圓五十錢

一尺八寸 金六圓五十錢

二尺一寸 金七圓五十錢

二尺五寸 金九圓

三尺 金十圓五十錢

四尺 金十二圓

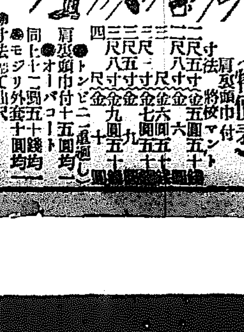
●トンビ二重廻し 同十五圓均一

●オーバーコート 同十二圓均一

●モジリ外套 十圓均一

●寸法御注文にて出來製造に限りあり品切の場合は殘念ながら御斷り申上候 ●特約販賣多數申込の向は特別御相談に應ず ●色合見本帳御入用の節は[illegible]

發賣元 二島高等洋服店製品部 東京市芝區三田松坂町三十六番地 電話高輪二二六三番 振替口座東京二五七二八番



吉 製品代理店(比較ハ最良ノ撰擇法)

わた 蚊帳 蒲團

京城黄金町二丁目 西川綿店 電話二七七八番 振替京城八三五一番

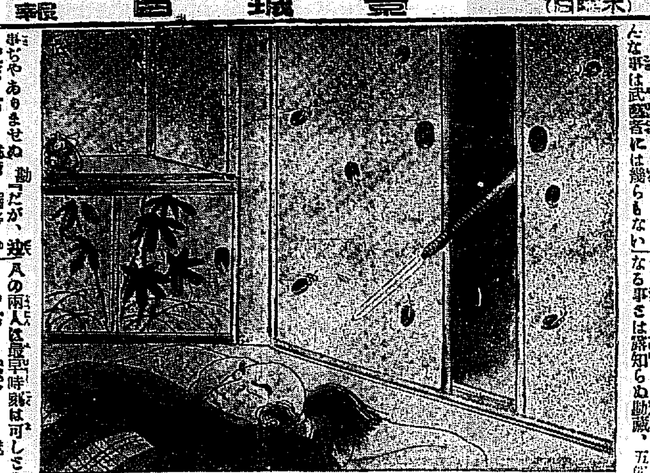
▲熟練ノ綿入職人差出シ候 地方御注文定價表差シ送リ候

中シンヌ無特製品

慶安太平記

第二九席　小金井芦洲講演

勘『[illegible]して門前は雀羅を張り、我等も遂にはこの村に居る事も出來なくなる、何とか考へねばならぬが、石井お前はどうする積りで先刻止めたのか　五『そこの所で　先生、[illegible]殺つてお仕舞ひなさい　勘『[illegible]　五『殺つてお仕舞ひなさい、殺つて仕舞ふとは　五『背に腹は換へられぬぢやありませぬか、あゝして寢かして來たんですから、先方の熟睡して居る隙を窺つて先生と私の二人で左右から不意に討つて掛つたら豈夫仕損ずる氣遣ひはございますまい、些と荒療治のやうではありますが、こんな事は武藝者には珍らしくもない事ぢやありませぬ　勘『だが、尋常一樣では其方と拙者二人掛つたつて不可ないよ　五『それが爲めにあゝやつて酒を呑ましてあるんです、年若ながらお腕前は大したものと先生もおほめなつた、それで先方は大狗さて居ら、如何に腕が達者でも暗夜の襟は防ぎ難ない、その寢首が取れない云ふ事はありますまいと思ひます　勘『成る程な、ぢや殺るか』兩人が四邊を憚り聲を潜めて相談をして居る、此方は寢所へ入つても如何で寢られるところではない、乾度夜逃げをするに違ひないと斯う思つて居りますから、五郎八が引取つた後でツッと音せぬやうに自分の座所を立ち出で、便所へ行く振をして家内の樣子を窺ふと、途か隔つた向ふの座敷で密々話が聞ゆる、拔き足をして其處へ往つて物陰で窺ふと、今言つたやうな無頼浪人の話だから　民『やア彼奴太膽な奴だ、逃ぐるのかと思つたら逃ぐるところではない、拙者を害しやうと云ふ、ハッハッハ、愚か者奴が、今宵は愈々彼等天運の盡る場合だな、それに反して我の本望を遂げる時、先方がさう云ふ了見なら、何も俺の方から慌てゝ先方の樣子を窺ふにも足らぬ、飽までも俺は熟睡をいたし居る樣子をして居りさへすれば好い』と思ひましたから、以前の座敷へ來て枕分に下に著込みをなし、足拵へを嚴重にし、いざと云へば直に間に合ふやうなる仕度をして床へ入つて兩眼を閉ぢ、眠つた風に粧つて待ち受けて居る、左ト[illegible]なる事とは露知らぬ勘藏、五郎八の兩人は最早時刻は可しとそつと左右から拔足をして參り、唐紙を細目に開けて見ると全く寢入つて居る樣であるから、黑川勘藏に於ては仕合せ好しと聲ねの手槍、石井五郎八一刀を取り右と左から一二三の掛聲で同時に一人は突出し一人は斬拂ふ、サッと閃く太刀風は實に物凄くも見ゑました、その途端にヒラリと體が床から離れた　勘『ヤッ仕損じたり』と黑川勘藏後へ下つて今一度突出さんとしたが、扨てこの室の内では槍といふものは假令六尺の手槍でも使ひにくい、況して黑川勘藏の如き未熟者に使へる道理がない　勘『これは不可ない』と腰の一刀へ手を掛ける時には先方の方が早い　民『鏡兒高澤精九郎の敵、覺悟をいたせ』といふ一聲諸共ギラリと斬込んで來たが』逃れる途がない、肩先へ一と太刀浴せられ血煙立つて、バッタリと後へ倒れる、斬損じて後へ退つた石井五郎八が後兒高澤精九郎の敵と云はれたから　五『さては大事八丁高澤のこれが噂に聞いた弟の金井民五郎が逆もこれでは敵はない』と思つたから、其儘縁側先へ逃やうとするところを呼び歸され振向く奴を　民『逃ぐるは卑怯ぞ』エイッと一刀浴せれば何條以て堪るべき、血煙立つてバッタリ其場へ倒れた。



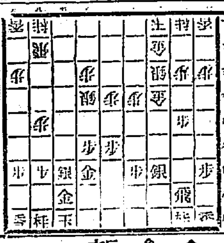
將棋新手合（三）

於神戸元町木見金次郎氏宅

十手六段　▲山本樟郎（四日市）

先六段　△澤呂木光治（京城）

（圖は前號指了迄の局面）



△持駒　澤呂木　角歩歩

手番　山本

△四六銀▲四五歩△三五銀▲同△七一角▲七二飛△三五角ナル▲四四銀△二六馬▲三五歩△一六馬▲三四角△二六馬▲四三角△七六歩▲二二玉△八八玉▲三四銀△六五歩▲同銀（以下次號）

忘年將棋會

年も愈々迫つた。日に隆昌の域に進みつゝある我が半島棋界諸勇士の爲め澤呂木將棋所主催我社後援の下に左記の日時及び規定に依り忘年將棋大會を開かんとす。我と思はんものは遠慮なく參會して戴きたい。

期日　十二月五日（午後一時より）

會費　金一圓五十錢（夕飯を呈す）

場所　明治町浪花館內　米友俱樂部

賞品　五勝四勝三勝者の全部へ呈す、尚五勝者には我社より優勝メダル贈呈

タオル

諸戸タオル滿韓一手販賣

京城若草町四〇

卸商　上月商店

電話一〇三五番

振替京城五三二一番

十二月二日　（舊暦十月二十三日）

下弦（午前一時二十九分）

宿▲成　[illegible]

▼二黑▲意に反する問題多し迂闊に事を企てゝは大破れを來す

▼三碧▲無意味な事に暇潰す日諸事慨ね凶盜難又は失物等用心

▼四綠▲紛糾の起る日常の事は行うて吉女子は行儀を守るべし

▼五黄▲吉と凶相半する日引込思案を排し活動して大利を占む

▼六白▲目上の引立を得るか思はぬ進路を見出す日待ち人來る

▼七赤▲幸運の日心を正しく持ては超等求職縁談結婚其他皆吉

▼八白▲見込通り有利に決着が告ぐる日發子發女を定むるに吉

▼九紫▲急進的行動に出でゝ[illegible]を占むべし思惑買水物商賣吉

▼一白▲納まり悪くとも不平なきを云ふまじき日堅く守つて安全

當ル今日ヨリ

歳暮御禮　福引景品

一等　置時計

貳等　同上

參等　同上

四等　同上

新派　龜甲組　三巻

泰西人情大活劇

男を導く女

全五巻

出演　メエ・マーシユ嬢

説明者　南郷公利　小石田涼花　泉春葉

舊劇　烈女の鏡　全五巻

黄金館

營口より

▲粟と石炭　營口滿鐵販賣課にては本月一日より十五日に輸入したる石炭は二千八[illegible]して一日平均の上にて卅一噸の差を生じたり甚奉天票の下落して撫炭の割安となれる爲なり撫順炭の勁敵たる大窰溝炭は一噸[illegible]に比較して八圓十錢の差を生ずるが故なりと

▲河北縣著大豆　本月一日より十日までに奥地より河北縣に到[illegible]河の結氷して輸出不可能となるは近きにあるを以て奥地荷主の輸送を控へ[illegible]なりと

▲新任領事送迎宴　既報の如く[illegible]日は亦官民合同の送迎宴を催[illegible]

▲遼河不凍　本年は例年に比し非常の暖氣にて遼河は現在流氷もなく毎日入港船數隻を數へる[illegible]

群山局電話抽籤

群山郵便局にては此程至急開通電話十四個の架設工事を了し既に一般の開通を見たるが右は特別加入申込者たり居れるを以て之を抽籤に依りて加入者を決定する事となり十一月二十九日午前十時より群山商業會議所に於て向田郵便局長立會の下に抽籤を執行し即時特別加入者十名を決定したり（群山）

清州の寫眞會

清州通信俱樂部寫眞部は初會を結城劇[illegible]互選の結果小形判一等福岡氏二等三枝三等宗安氏（キャビネ判）一等栗林氏二等結城氏當選せり（清州）

[illegible]事を觀察し同日午後官川に向け出發せり（新義州）

○中村第七郎歡迎會　中村組社長中村第七郎氏の[illegible]

○堀次席轉任　三井物産安東縣出張所次席堀謙三氏は今般大連支店へ榮轉せり（安東縣）

○東京國民司法會　在安東京分[illegible]たるが出席者十餘名にして非常の盛會なりしと（安東縣）

三十倍の◯濃厚香水

PARFUM

MITSUWA CONCRET

優雅清て強い芳香を頗る永く保つ香水の素

◯ミツワコンクレー

定價　壹瓶　金壹圓五拾錢

ミツワコンクレーは、優艶な匂や、調合の不手際な香や、或はアルコールを以て稀薄にした普通香水と異りて、强烈な芳香の香水の素たる芳香原料であります。香料の世界的本場たる佛蘭西に於て、非常に賞美されてゐる純粹の香料を基礎として、之にミツワ化學研究所の研鑽にかゝる至純の芳香料を選擇配合したもので、芳烈に品位ある佳香、强度の耐久的の香氣を有し、殊に其濃度は普通香水の三十倍以上に達してゐますので、從つて芳香は强く且つ永く保つて經濟的實用品としては、十分賞讃さるべき普通香水の素たる原料香水です。

賣捌―藥舖、化粧品店、和洋酒食料品店、雜貨店

尚ほ本品は普通香水の素たる原料香水ですから、決して多量に使ふ必要なく其一滴を以て永く馥郁たる佳香を保つことが出來ます。肌着襦袢、手巾、夜具等に一滴宛用ひ、或は小形の鳥の子紙に數滴を浸せて之を薄紙に包み、簞笥長持等に入れて置きますと、衣類に馥郁と移香して、御召更の際には極めて床しい快感が得られます、或は香水紙としてそれを御所持なさるのも亦風雅なものであります、又二三十倍のアルコールで稀薄にしますと、香水吹に入れて御使用にもなられます。

（現品寫眞縮圖）

11・1

GENUINE COLD-PRESSED

MITSUWA SESAME OIL

品質優良にして香味卓絶、消化吸收容易なる理想的食料油

小平理學博士推奬　滋養食料用

◯冷壓純粹　ミツワ白胡麻油

定價　壹封度入壹罎　金貳圓

冷壓純粹ミツワ白胡麻油は普通の胡麻油とは全然其製法を異にせるものにして、精製せる白胡麻の種子を完全なる冷壓法に依りて搾取せるものなり、香味頗る佳良にして永く貯藏するも變敗の虞無く、消化吸收容易なるを以て、サラダ油として食料に供し、殊に天麩羅の揚油として、最も好適なることは、其輕快なる他に優れる風味の證する所なり、元來食料として脂肪を攝取すべきことは榮養上必要なる條件なるが故に、ミツワ白胡麻油の如く、品質優良にして消化吸收容易にして而も滋養價甚大なる植物性脂肪の攝取は、榮養の完全を期するに最も肝要なるものなり。

試驗成績報告

一、冷壓純粹ミツワ白胡麻油

[illegible]

大正九年八月

ミツワ化學研究所

理學博士　小平　[illegible]

天ぷらの揚油に就て

天ぷらを食して胃腸を害するは其油が消化吸收せられぬ故である。ミツワ白胡麻油で良く揚げた天ぷらは美味にして而も決して胃腸を害せぬから、噯氣出で又は下痢する等の憂ひが更にない、これは從來の油と其製法を全く異にして、容易に消化吸收せらるゝ「冷壓純粹」の白胡麻油であるからである。

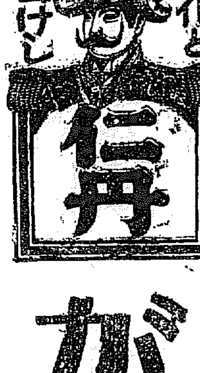
天ぷら用

サラダ用

食料油

（現品寫眞）

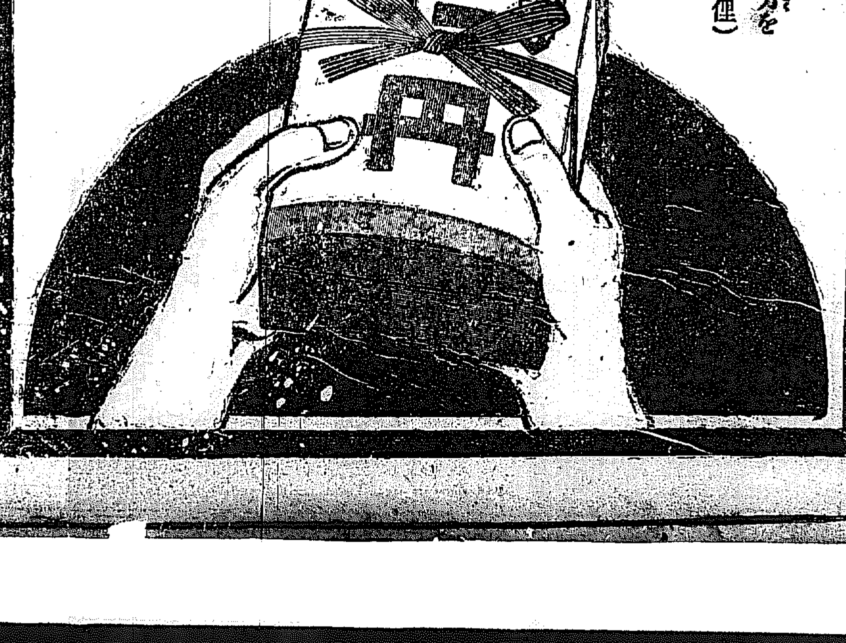
歳暮の贈物は仁丹が一等!!



貰ふ方には欣ばれ……

贈るには手輕で至極重寶

金言　愉快と厚意とは勞力を輕からしむ　（英俚）



京城府にては統計資料として八年度中の府内製造工場及び生産額調査の爲め各方面の工場に就き照會を發し十年一月までに回答を求めたり

鮮來格附
農省認可

全國米穀取引所は大正九年產米標準を制定し十二月姙會の二月限り適用する事と也たるが朝鮮米に關しては過度に格下げ範圍を短縮する時は其の移出を阻害する怖れあり然れども從來の儘にては等米中の稍下位に在る品迄は取引所受渡し米に繋がることとなりその格差大阪。四圓。東京 四圓二十錢となし他の取引所も大同小異の規定を設け認可申請をなしたる分に對し三十日認可指令を發したりと農商務省は公表せり（東京電報）

東京金融週報

東京交換所組合銀行における前週末の帳尻左の如し（東京電報）

諸預金合計 十六億九千萬圓
前週に比し九百萬圓減
諸貸出合計 十八億二千四百萬圓
同 百萬圓增
金銀有高 一億六十萬圓
同 一千七百萬圓減

殖鐵開業式

朝鮮殖產鐵道は二十日より沙里院載寧間十五哩の開業を行ふ事に決定せるが時恰も大節季なるを以て開業式は明春五月春陽を卜し盛大に行ふべしと

〇日銀帳尻 二十九日現在左の如し（千圓單位）

發行高	一二六四、四五三
正貨準備	一一四六、六九八
發行餘力	一〇二二、四四四
貸出高	一八七、六三九

〇鮮銀券日報 三十日現在左の如し

發行高	九八、九七一、四五二
正貨準備	五〇、三三七、一六七
限外發行	[illegible]

財界閑話

解散說は愈々株主總會で決議した二千萬圓の大會社は果して總督府では輕々認可をしてどうなるか▲總督府でも認可をせぬかも知れぬ又非解散論者も有力方面に多いから局面採めやう▲唯株主總會の決議は立派な決議である動かす事の出來ぬ決議だ▲總督府が認可をせぬ場合は想像し難い紛擾を起さう▲會社は株主の會社だその株主が會社を解散するに何の差閊へがある▲政府の解散許否權は著しく株主の決議が公安を害するとか云ふ場合に行使さるべきものだと云ふ株主もある▲解散提唱者の內には代議士も大分ゐる總督府で何の彼のと云つてゐると江戶の仇を長崎で討たれるかも知れぬ▲先づくさう極端まで行かずとも結局解散となつてケリは付かう▲唯解散はそれで好いとしても外に飛火する事となれば私鐵の大弱點だ▲その邊は然るべく防火の必要あり矣

株式（商盛）
前場は好調

愈々本日後場より實施せらるゝ新制度を氣構へて手際き筋の買進みあり寄付十錢高の三十錢と付け跡前場の買進みに四十錢と煽りたるが大勢は大引共に四十錢と同じで其の場面を脫せず二の廻りは八圓九十錢買▲電興六圓二十錢の手合せありたり

後場奔騰す

後場は改制後の第一日とて市場關係者は之れを新紀元となし銓本社員先づ改制に就いての運動經過其他の挨拶あり田中委員長之れに答へて謝辭を述べ夫れより一同祝杯を擧げて手打式を行ひ直ちに立會を開始したるが何分最南三日間實施待ちに見送りて居たる事とて買氣を抑へ切れずに忽ち人氣は爆發し宛然鼎の湧くが如く（田中川崎の買出動に）一擧一圓五十錢方の奔騰となり一圓九十錢と寄付き（思ひの外値頃を見たるがマバラの買氣騰り難く再びザリザリ引返して九十錢と付け跡七八十錢處に大混戰を演じ（結局七十錢と寄跡を了りたるが此の間の出來高無慮四五千枚更に大振撼大商內を演ぜらるべき氣配なりしが木商締切りの都合にて遺憾ながら場越するを得ず

電興氣強し

電興は客月五圓四十錢の取引ありたる以來久しく手合を見ず最近の內氣配は五圓七八十錢唱へなりしが今朝古閑賣櫻谷買にて六圓二十錢と出來三五十錢方引締れり

前場內氣配

殖新十二圓三十錢買▲東亞新二十五圓四十錢賣三十錢買▲仁取百五十圓賣四十九圓五十錢買▲鮮銀百八圓五十錢賣▲同新三十三圓八十錢賣三圓買▲漢銀三十四圓買▲朝紡十三圓九十錢賣五十錢買

後場の乙部

本日前場の乙部は商內皆無なりしが後場は制度改正の人氣に買氣旺盛となり京取舊株二十一圓三十錢安同十六圓三十錢大新六十二圓新東七十四圓上取六十二圓等の手合せ出合せり

客月京取高低

十一月中の京取株高低は十九日後場大引の二十四圓七十錢と廿二日前場寄付の同値を最高として二日の前後場を通ずる十六圓四十錢が最低を示し居れるが其の間の値巾四圓三十錢の動きに過ぎず而して之れを平均すれば十八圓五十錢強となり十月中の平均値十七圓二十五錢に比し一圓二十五錢の値がりを示せり

	前場寄付	後場大引
一 日	一六、四〇	一六、四〇
二 日	一六、六〇	一七、〇〇
三 日	一七、五〇	一七、〇〇
四 日	一七、七〇	一八、三〇
五 日	一八、二〇	一八、一〇
六 日	一八、〇〇	一八、〇〇
八 日	一九、〇〇	一八、七〇
九 日	一八、八〇	一八、八〇
十 日	一八、九〇	一八、三〇
十一日	一八、八〇	一九、〇〇
十二日	一八、八〇	二〇、〇〇
十三日	一九、三〇	一九、三〇
十五日	一九、二〇	
十六日	二〇、二〇	

京城現株市場出來値（一日）

銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場
京取	引寄 三〇、三〇	三、四〇	商銀	引寄		京電	引寄	
殖新	引寄	三、四〇	同新	引寄		同	引寄	
東拓	引寄		漢銀	引寄		電興	引寄	六、二〇
拓新	引寄	三、四〇	同	引寄		東卸	引寄	
亞新	引寄		朝銀	引寄		朝信	引寄	
仁取	引寄	一究、五〇	東拓	引寄		朝郵	引寄	
鮮銀	引寄		鮮土	引寄		朝鐵	引寄	
同新	引寄		朝紡	引寄		中鐵	引寄	
殖銀	引寄 圓、一〇		滿毛	引寄	一三、四〇	滿鐵	引寄	
商銀	引寄 八、五〇					同新	引寄	三〇、〇〇

銀塊市況（倫敦二十九日）

發電報銀塊相場は東洋筋賣にて四十六片八分の一となり三片方暴落を示せり尙ほ當日紐育銀塊相場は七十一仙四分の一方暴落せり

當期出來高

八月上四日開場以來十一月末日迄の京取當期出來高は甲部九萬六千八百二十枚乙部五千二百四十七枚合計十萬二千五十七枚にして之れが手數料は十萬二千百十四枚の手數料收入一株八十錢として八萬九千二百九十一圓二十錢となるなり

主要株歩み値段

	京取（前場）	京取（後場）
	三〇、四〇	三一、八〇
	[illegible]	

出來高 甲 一千五百十枚 乙 四枚
累計 甲 九萬六千八百四十七枚 乙 五千二百四十枚

各店の賣買高

十一月中の各店賣買高は從來首位を占め居たる田中は第二位に落ち金剛秀之れに代りて賣買總計九千二百四十六枚を算し第一位となり田中の八千百三十四枚之れに次ぎ第三番は金龍の六千三百八十八枚にして以下吉見新田近藤の順序なるが之れを總計に見るも十月中の四萬三千七百八十六枚に對し六萬一千百八十枚を示し一萬七千四百四枚の增加となれり

店名	賣	買	計
金秀	二、六二	七〇八四	九二四六
田中	五五三四	二六〇〇	八一三四
金龍	三三五三	三一三五	六三八八
吉見	二二五三	三四七六	五七〇九
新田	二二六七	三三五五	五六二二
近藤	一一六一	一八〇五	二九六六
井口	一六四九	一八〇四	三四五三
渋江	一八〇九	一五八五	三三九四
大島	一九二五	二四一二	四三三七
櫻谷	一九二五	一一〇〇	三〇二五
深野	二五四	二〇六	四六〇
方川	二〇二	一二〇〇	一四〇二
川崎	八八三	二七七〇	三六五三
有田	九五〇	五八〇	一五三〇
南	九〇四	九九〇	一八九四
中津留	七五〇	四〇五	一一五五
池田	四七七	三三八	八一五
高松	五〇七	三〇三	八一〇
樋口	三一〇	三〇一	六一一
三好	二七四	一八〇	四五四
篠崎	二〇〇	二〇〇	四〇〇
古閑	二三〇	一〇〇	三三〇
土岐	一三〇	二八〇	四一〇

京取金融
京城北米倉町 信託部 櫻屋仲買店
特價八掛 低利親切 電話三五六・二八五四

十七日	一九、〇〇	一九、九〇
十八日	二〇、〇〇	二〇、三〇
十九日	二〇、一〇	二〇、七〇
二十日	二〇、六〇	二〇、五〇
廿二日	二〇、七〇	二〇、五〇
廿三日	二〇、五〇	二〇、四〇
廿四日	二〇、三〇	二〇、二〇
廿五日	二〇、二〇	二〇、〇〇
廿六日	二〇、〇〇	二〇、三〇
廿七日	二〇、三〇	二〇、三〇
廿九日	一九、五〇	一九、五〇
三十日	一九、〇〇	二〇、二〇

敍任辭令

依願免本官 光州地方法院 補高等法院判事 木浦支廳判事 鮎川元恭
京城覆審法院判事 文澤圭
大邱地方法院 慶州支廳判事 朴泰成

倫敦株式（紐育二十九日）

發電報株式はスチール株八十二弗アナコンダ銅株も同事

上海休會（上海二十九日）

發電報株式市場は更後準備の爲休會

東京現株特電

銘柄	一日前場	三十日後場
鮮銀	一二一、〇〇	一二一、〇〇
同新	三三、五〇	三三、五〇
東拓	四七、〇〇	四七、〇〇
同新	一三、〇〇	一三、〇〇
滿鐵	一〇四、〇〇	一〇五、〇〇
同新	一八、〇〇	一八、五〇
殖銀	四三、〇〇	四三、五〇
同新	二三、〇〇	二二、〇〇
東株	二二、〇〇	二二、〇〇
連取	三七、〇〇	三七、〇〇
滿毛	一四、〇〇	一四、〇〇
朝紡	一二、〇〇	一二、〇〇
滿酪	一八、五〇	一九、〇〇

大阪株式特電

銘柄	一日前場寄付	三十日後場大引
大株	一二三、二〇	一二三、六〇
郵船	一三九、〇〇	一三四、〇〇
同新	五五、八〇	五五、五〇
商船	六八、〇〇	六八、〇〇
同新	二三、〇〇	二三、〇〇
鐘紡	二九、〇〇	二九、〇〇
同新	二六、三〇	二六、〇〇
東紡	一四、〇〇	一三、〇〇
東糖	七二、三〇	七一、〇〇
上取	六二、五〇	六二、四〇

北濱見聞

銘柄	一日前場大引	一日後場寄付
大株	一一四、五〇	一一五、二〇
郵船	一一三、六〇	一〇〇、〇〇
同新	六八、二〇	六八、八〇
商船	二三〇、〇〇	二三四、一〇
同新	二一八、五〇	二二二、五〇
鐘紡	二一四、二〇	[illegible]
東紡	一	二〇、〇〇
上取	六三、八〇	六三、八〇

反動一段落

十月の立直り相場の株式市場では綿糸界の形勢不良に乘ずる軟派の空叩きを猶も杓子も主力株に旗賣を敢行したる大正三年以來の新安値に頭合せし糸界では市中現物在荷鮮少に乘ずる皮肉なる場揚策と綿糸手持問屋筋の當同的買煽りが共二因をなして居るあつて株式市場は之れに共鳴した而もシ聞の手持綿糸は年內に處分を了ると云ふのが事實に近い樣であつたするこに決定したる反動に上げた株式市場も日先高値は一段落を發して居るのではあるまいかと思はれる

反動の反動期

過去に於ける大暴落即ち大反動に對する小反動の期を見るに明治二十八年日清役の時は九年に下落して三十年に反騰し三十一年に下落して三十二年に反騰し前後五ヶ年間大株は百六十圓以上に高値往來を繰返し三十二年一番底を入れて其反動は五年三月天井とかつた即ち底値より大凡四ヶ月目である四十年の日露役の時は四十一年七月二番底を入れて十二月天井五ヶ月目で株內閣の公債政策に依り其後又四十二年末十三年初頭に高値あつたか之れは三ヶ月目に天井打となつて居る更に歐洲大戰爲相場の大正七年は新株落の四月から七月天井となつて居るから四ヶ月目である又同年十月の一番底から翌年二月天井であるから之れ亦四ヶ月目である斯く統計的に調べて見ると大抵は四ヶ月目に天井打となつて居るされば十月から反動期に入つて居るから明年一月頃は天井を打つべき時期と見られぬでもない

玄人の皮肉買

三品市場も株式市場も値頃に依りては相當買ひ得べき根據を有する今日一般の人氣は兎角大瓦落の創痍深く恐怖的觀念より兎角警慕ひ勝ちとなる小口落の結果玄人筋に之れが皮肉買の流行するは當然なる現象で綿糸の强氣はシ聞處分品消化後の綿糸四百圓を理想とし株式の强氣は鐘紡の三百四十圓大株の二百圓は銀行庫中に其株式の七割が藏せられて居る今日買ひ煽りても虞分品の現れ來るが如き懸ひなしと稱して居る樂鳴相場は恰度高値より半値押の値頃となつた米綿も收穫作況と各國綿絲の不賣り敗作を賣り酒造家其他漬しロの消費減を賣られて居る今日皮肉なる强氣説は或ひは成功か博し得るかも知れぬ

米況（不勢）
仁川期米
新甫

天候快晴と相俟つて生氣溌溂の裡に迎へられたる今朝の新市は本年の最終とて一入活氣を呈し立會へば期近に正米の不勢を受けて當十九圓七十八錢中十八圓七十錢と前日の止め値より氣乘薄に始めしが新市先安見越しの買物殺到して十八圓四十錢と三十丁の下鞘に發會せり

南二十四圓六同鞘發會

第二節 當田來ざるも大阪新甫二十九錢と七十錢より四の賣りで六十五錢と下追りせしが押目は樂替へ手仕舞に七十二錢と盛返し先四十錢より二十七錢と崩れし も値頃思ひの買ひに支へられ三十五錢と手堅く引第三節 當田來す中八十錢と七十錢と手堅く保合に先三十五錢より二十九錢と弛み大阪三十錢望の小戾しに四十錢と剣返し二十八錢と引第四節 當田來ざるも中七十三錢七十錢先四十一錢より三十八九錢を採合ひ七錢引▲第五節 當田來す中七十錢先三十九錢より七錢を持合ひに引▲第六節 當田來ず七十錢より七十九錢と變らさるも先限も三十七錢と始め九錢と採合に頭重く大引せり

値頃買旺盛

段定通り今朝の新市は十八圓四十錢より中限より三十丁の下鞘に發會なし上鞘發會を唱へたる阪地が不勢の中に限と同鞘二十四圓六十九錢に生れ跡五十錢望の安移りを受けて軟派は熾烈に新市へ賣物を浴せ反撥を試みせしめんとせ二十錢まで追撃を抑制しも値頃思ひの買物依然として衰へす忽ち氣勢を改め寄付の反應鈍きを感せしめたるが玄人筋の買物潜在せるに刺戟されたる弘前取組の增加と相ふ振合いあれば寄付きも新市の増加とせるに俟つて而白き活躍が開始されるにあらずやさ

値頃買尙早

今前場の新市發會は十八圓三四十錢望を持合に大引せるが場商の人氣は値頃患に買進み多きのみならず操縱期に入れる以上は絕對に底の俗地なしと觀測せる向少なからさるも中限の下鞘を叩ける以上二限として中限の下鞘を增加に連れて好人氣たりしも米の入津は不勢に陷らんとする傾向を示しつゝあり

黃海道にては或方面三等合格十八圓內外で取引行はれ乃至七八十錢見當なれば買得らるゝ由情報ありたりさか之れを定期に掛けんが一回の賞與と出樹其他詳細に採算を見詰る時は目下の期米に裕に引合ふ譯なれば受米處分難の折柄にもあり此桑氣投げは免がれ難きもの乂如し

中限は乘替へ

中限に移るさ新規注文が減じ來らは勿論場面のサラ付かざる關係上居殘りとなれる手にには今朝新市の發會と同事に乘替へを商內を試み向多く自然中限に手仕舞商內に十九圓七十錢摑みを保合の餘儀なき立場に到れり

內鮮循環安乎

鮮內各地の正米は籾の出廻り增加に伴ひ形勢益々不良の傾きある處へ內地正米又逆日低落を傳へ今朝は別項の如く東京正米の暴落を移せる帝阪神方面も無論京安の率制を受くると同事に共影態は更に鮮米に及び此鼻成程度迄內鮮米の循環的下落を見るにあらずや

〇 仁川米豆取引所仲買人 海岸通三丁目 那須仲買店 電話長一三一、七六三 略（〇一二）又八（二）

鮮米格附認可

全國米穀取引所に於ける標準米の制定及鮮米の格附に付ては豫て申請中の處客三十日附認可指令を發したるが之れに依り內地へ東京四圓二十錢大阪兵庫下げは愈々四圓と定まり今發會の二月限より之れを適用せらるゝ譯にて內地米は各府縣合格米なる大部分と移入鮮米の相當數量は亦合格する見込なりと

東京正米暴落

產地氣安の內地正米は漸次集散市場の人氣を冷かし來れるもの乂如く頃日來小刻み的に下押し歩調なりしも東京正米は今朝一氣一圓五十錢方の暴落を報せり

期米雜觀

期米は値頃で保合ふて居るが倭は足先へ失敗しましようかと云はぬ許りに崩れて行くと正米界の衰れさは眺むるドチしても此の相場が底值なして居るとも豫測し難いのみか北の遠ひと悪い處を見せ度い所は深く買はれぬと本當の本場の本格であり▲成程空前の豐作をと見做さる此の鮮米が內地へ向けて悲惨な賣行きが悪くては正米界でもない押詰つては來たし中農以下の窮迫がないとも限らぬが▲其れにしてはけ籾や正米の出廻り方が氣に喰はぬ同時に三等合格が全部でタツタ二千二三百叺しかないと云ふ日下の有様

後場は不勢

第一節 當限九圓六十錢中八圓六十錢先八圓二十錢と寄付きたり第二節 當九圓五十錢中八圓五十錢先二十錢より廿二錢を高値に十五錢を安値として十九錢引公定十九錢引第三節 當中出來ず中八圓五十九錢より五十七錢先十八錢より三錢引▲第四節 當田來ず中八圓五十六錢より〇八錢を押し九錢引公定十八錢▲第五節 中八圓四十錢先〇五錢と始まり（立會中）

出來高	八萬六千二百石
累計	八百四十二萬五千四百石
取組高	一萬〇九百石
現在	一萬六千四百石

	三十日 後場寄付		前日 場	公定 値段	一	前
一節	八、七〇					
二節	八、八五					
三節	八、六八					

（平均値段：一節 八、二四〇 二節 八、二三〇 三節 八、〇八〇 四節 八、一九〇 五節 八、三九五 六節 八、三三五 先限 八、〇六八 中限 八、七七〇 當限 八、八二〇）

京城正米現物

現在賣物としては潤澤といふにあらざるも籾の廻着多きと各地の正米安なを入れ買人一齊に高値買控への方針となり鮮人筋の思惑、稍々ひるみたる模樣にて自然荷主の悲觀軟化し始め今朝氣配は四五十錢安の地相上玄十九圓八十錢見當を唱へられ限先行にずり安を示さんかの模樣なり

籾在荷漸增

籾は其後引續き廻着增加し名所在荷を合する時は既に十萬石內外に達し居れるもの如く既報京城五口の在荷二十萬石を實現する愈々近きにあらさるべしと

白米下押す

白米は原料の安氣配に伴ひて徐々下押し模樣を呈し市中卸値は今朝更に三十錢安の三十七圓を唱へ居れる由にて原料は限先從見越しにて旣に至れり旁一般の引離るみあらん

仁川正米市場

大潮を機會に一派籾の入津を增加し地相玄米十九圓見當を唱へ入れしが入津悪化し三等合米も相當に廻付居るも日鮮米の賣れ行きは今一つ先の內地よりの日米注文途切の折柄閑り

群山正米特電

十二月中旬二十一圓七十五錢 同後一月中限一圓十錢現物二十二圓五十錢（二日）

取組高

三十日後場商內 一月十五日渡 玄米二百石 二〇、六〇
十一月中 玄米 白米 大豆
十二月末 一〇〇石 一〇〇石 三六〇石
一月中 一、四〇〇石 ……… 一八〇石

京城穀物延取引

玄米

昨前場新手の乘出しに活氣を添へたる場面も各地正米安の移りに後場は人氣稍々衰ろへ相場も二十圓六十錢と小綺み悩みかに二百石の商內に打止めたるが二十日發會の當日なりしと昨日場況の際を移りしも加はりし筋況の際を移りし筋況

中限二十圓五十錢と同事に始めしが米新市の不味さと地場正米安に買物を喚び跡五十錢より四十錢さ下押したれば相場の悪日に更に買物旺盛となり三十錢より廿五錢と迫込二十錢と崩れたり一月末限は二十圓三十錢と發會し中限の不勢に壓されず々々と下追りせしが正米安刺戟されず

大豆

は現物に對する望人非ずあるも氣配は依然ぢり押しの步調にて活氣なく南川物は昨日十二月十日後九圓九十錢にて出來し各朝は鐵原本月三十五錢に付各一圓四十錢內直積十圓三十五錢にて各一圓二十錢かて取引ありたるが跡氣配面白からず原物は十圓二十錢の宣唱を聞くに至れり

前場商內

十一月中 玄米 十二月十五日渡 十二月末渡 一月十五日渡
一月未渡

銀入値段二十圓三十錢	
出來高 八百石	
十一月十五日渡 出來不申	
十二月十五日渡 出來不申	
十二月末渡	
一月十五日渡 ▲百石二〇、六〇 ▲百石二〇、五	
一月未渡	
三〇▲百石二〇四〇 ▲三百石二〇、	
二〇 二〇、三〇 ▲百石二〇、二五	
玄米百石二〇、三〇 ▲百石二〇、二〇	
五▲百石二〇、二〇 ▲三百石二〇、	
一〇	
銀入值段二十圓二十錢	
出來 六百石	

東京期米特電

〇寄付 二節 二十四圓七十錢 一日前場先限 二四、九〇
三節 二四、七一
四節 二四、八四
一日後場 二四、八四
先限寄付 ………

大阪期米特電

〇一日前場

當限寄付	二十四圓五十一錢	三四五
同 止め	二十四圓四十四錢	
中限寄付	二十四圓六十九錢	
同 止め	二十四圓五十五錢	
一節	六節	
二節	七節	
三節	八節	
四節	九節	
五節	十節	
寄付	安値	

〇一日後場

當限寄付	二十四圓二十六錢
同 止め	二十四圓三十九錢
中限寄付	二十四圓三十九錢
同 止め	二十四圓二十錢
先限寄付	二十四圓十六錢
二節	二十四圓四十六錢
三節	二十四圓四十四錢
四節	二十四圓四十八錢
五節	二十四圓四十一錢
止め	二十四圓三十五錢

下關期米特電

〇一日前場

	寄付	止め
當限	三、九一	三、九九
中限	三、八〇	三、八〇
先限	三、四〇	三、西

〇一日後場

	寄付	止め
當限	三、三〇	
中限	三、四〇	
先限	三、三〇	

大阪三品特電

	一日前場寄付	前場大引
十二月限	三五九、四〇	三五一、四〇
一月限	三八、七〇	三八、九〇
二月限	三八、三〇	三八、三〇
三月限	三八〇、三〇	三八一、二〇
四月限	三八三、三〇	三八四、〇〇
五月限	三八、四〇	三八三、五〇

〇一日後場寄付

十一月限	三〇〇、〇〇	三九、一〇
十二月限	三五六、〇〇	三九〇、一〇
一月限	三九、〇〇	三八、三〇
二月限	三八、〇〇	三八、五〇
三月限	三八、一〇	三九、一〇
四月限	三九、一〇	三九、四〇

橫濱生糸特電

〇一日前場

當限寄付	一五二、六〇
先限寄付	一五九、五〇

米國宣教師も多數出席
耶蘇教會堂で開催

奉天省內柳河縣三源浦耶蘇教會大會を十二月六日開催し米國宣教師も多數出席する豫定なりと堂に於て不逞鮮人各地代表總會教師も多數出席する豫定なり是より江界に向へる宣教師トーアスタックは江界の住宅及敎會堂を借りて……

……各方面に手を伸ばし殊に鮮人教濟の爲と稱して支那官憲に土地の租を交涉しつゝあり過般奉天宣會に出席中の忠淸南道益山公立普通學校長益永權太郞氏は十月十五日迄ポチフスに感染し急報に依り馳せ付けたる妻に入院し十八日總督府醫院

〇益永校長逝去　過般來奉天……公立普通學校訓導助手益永……氏は在鮮十五年……其島長崎……勤務中職務の爲に炎病を得て鬼籍に入れりと云ふ不幸なる一家と云ふべし

天氣

今朝高氣壓は大に發達しその示度七七四粍に昇り沿岸州及滿洲北部に擴張しその尖端は朝鮮を蔽ひ次第に南方に向ひて減少しつゝあり全鮮槪ね晴天なるも東

温度 最高 一日正午	八、五
最低	一、二
日出	午前七時三十八分
日入	午後五時十六分
滿潮（仁川）	午後九時四十分
	午前十時十五分

購買公告

一、搬架川個修理外六件
右來十二月六日午前十一時入札
一、棕櫚繩五百尺外登點
右來十二月六日午後一時入札ス
一、車軸油五石外二件
右來十二月六日午後二時入札ス
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

刑事專門 辯護士 本木房吉 京城府黃金町三丁目三十番地（大阪ドラック東側小路入ル） 電話長二四一三番

◎冬の御用意……一刻もお早く
◎每年御用命先に滿鮮唯一と御褒辭を頂いて居ります
（說明書呈）朝鮮總督府御用 關東廳御用 南滿洲鐵道株式會社御用
京城龍山停車場前 宮崎組本店 電話龍山八四三番
支店 出張所（平壤、羅南、會寧、咸興、奉天、大連、長春、安東）
◎注意近頃特許にあらざる粗惡の模造あり御注意被下度候

品揃 牛革製上仕立トランク ラクダ毛布鼠毛布各種 日ノ丸國旗及附屬品
京城本町二丁目三六 高木艶店 電話二五四番

大學病院模範方劑 調劑確實有效保證
KAZEPIRIN カゼピリン
樂天堂製藥株式會社

最新刊
提要實驗礦物學 五、六〇
史學通論 一郞 三、三〇
高等數學概要 掛谷宗一 四、三〇
自然錄 高楠 作衞 一、六〇
宗教哲學的覺醒 正台
海底の重罪 長尾宇賦 三、五〇
女人崇拜 松崎天民 二、二〇

大阪屋號 京城本町一丁目 電話二〇二、一七三 振替京城二五七三

◎着荷御案内 △ピアノ・オルガン △樂隊用樂器 △蓄音器
（目錄進呈）釘本樂器部 京城本町 電話二一八三番 振替六八四番

意匠 スラカリス 電力使用 繪書文字商標定紋模樣應御好 硝子板專業 三田政商店 京城本町二

精力の母

獵者の友！

森永ミルクキャラメル

タバコ代用

十錢 十五錢

森永製菓株式會社

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一三九〇番

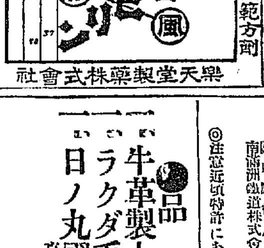
京城黃金町三丁目 京城自動車講習所
釜山府榮町一丁目 釜山自動車講習所

創始東洋第一 東京自動車學校
收入多大ノ自動車界ニ來レ
爰ニ自動車ノ激增ニ伴フ運轉手技師ノ不足甚シキ本校ハ大阪福岡朝鮮ニ分校ヲ有シ全國滿鮮巡業所ニ就職シ得ル甲種運轉手ヲ養成ス同志希望者ノ爲ニ運轉手技師ノ收入ト地位ヲ述ベ自動車ノ狀態ト開業ノ資金收入等ヲ記載セル美本ヲ無料ニテ送呈ス東京市京橋區於朝鮮分校 入學每月一日及十六日二ケ月卒業ト一ケ月卒業アリ何レモ卒業迄ノ全學費金百卅二圓前納學則送呈

資本金 八千萬圓
拂込濟資本金 五千萬圓
積立金 七百六拾五萬圓
預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候
朝鮮銀行 總裁 美濃部俊吉
支店出張所 內地 東京 大阪 神戶 下關 朝鮮 釜山 大邱 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦 羅南 淸津 會寧 滿洲 大連 旅順 營口 遼陽 奉天 奉天新市街 開原 四平街 鄭家屯 長春 吉林 安東縣 哈爾賓 傅家甸 齊々哈爾 滿洲里 支那 上海 靑島 天津 濟南 浦潮斯德（貨幣交換所 ハバロフスク 齊多）米國 紐育 右ノ外倫敦、巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

宮內省御用達 山邑酒造株式會社醸造 兵庫縣灘魚崎
櫻正宗 賞牌元 名瀧
サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店 電話長八四九番 振替貯金口座京城一四五四番

痔疾專門 京城久枝肛門病院 京城明治町壹丁目 電話二一〇二番



曙

德田秋聲　（挿畫）近藤紫雲

第八回　介抱人（三）

翌日七時頃に、絢子は澁谷の生家の方へ手紙を書かうとしてゐると、母家の方から女中が突然呼びに來た。

『あの御隠居さまが奥さまに』

『さう』絢子は應へたが、女中の目のうちには、一種の嘲笑的な色があらはれてゐた。勿論それは昨夜來た女…お須磨に對する侮蔑であることは明かであつた。

絢子はこの四五日まつたく氣分が勝れなかつたし顔を……おくさと云ふ風であつた。で、何かは金さへやれば如何な女でも自由にしてかまはないと云ふ、古い時代の汚い考へをもつてゐたし、金持特有の間違つた矜ももつてゐた。

『ゆふべお客さまがあつたやうだわね』絢子は女中に訊ねてみた。

『は』と、女中はアイロニカルな表情をして。『大久保さんがつれていらつしやいました！』

『どんな人？』

『綺麗な方ですわ。女學生風の小柄な、おとなしやかな……』女

合す機會は殆どなかつた。と言つても、朝の挨拶ぐらゐはしない譯には行かなかつたし、子供はやはり文平の方へも遊びに行つて、菓子などをもらつたりするのであつたが、今朝などは文平がいつまでも寝床から出てこないので、まだ『お早う！』と言ふ隙もなかつた。

それに昨夜大久保が女をつれて來て、奥で酒など始まつてゐたことは感づいてゐたので、何か極まりがわるかつた。勿論文平としてはそんなことは平氣なもので、奥勤めの小間使などに手をつけて、親元から絶えず金を強請られたこともあつたし、今獄に門内に住つてゐる男で、他の仮立だとか、貸家の差配なぞをやつてゐる者の女房なども以前文平とさう云ふ關係にあつた女で、それを其男に娶はせて

中は目で笑ひながら言つた。

『さう。それあ可かつたわね』で、絢子はちよつと衣紋などを直して母家の方へ行つてみた。

文平は今起きたところだとみえて、居間で新聞を讀んでゐたが、おすまは綺麗にお作りをして、女中の運んでくる朝飯の御馳走を食卓のうへに並べてゐた。

『お早うございます』絢子は入口で兩手をついた。

『あ、お早う！』と文平も平氣らしく言つて、ちよつと頭をさげた。

『どうだ、大分好い時候になつて來たな』

『さいでございますね』

お須磨は絢子をちろ〱見ながら、挨拶をしやうにも極りがわるくて顔があげられないといふのであつた。勿論絢子の方でも何だか息がつまるやうであつた。

『時に絢、これはお須磨といつて、今日から己の身のまはりの世話をしてもらふ事になつたのだが、ちよつと紹介せておかうと思つて……何かとまた氣をつけてやつてくれ』

『さいでございますか』

するとお須磨は微笑を浮かべて、

『不束ものでございますが、何卒どうぞよろしく！』

『私こそどうぞ！』絢子もお辭儀をした。

『今朝は大分寝坊をしたやうだな』文平はお須磨の顔を見ながら云つた。

『は、よくお寝つていらつしやいました』お須磨は答へたが何處か眠が足りないと云ふやうな目をしてゐた。顔の皮膚も萎れてゐた。

『とにかく二人とも仲よくしてくれんぢや困るの』

二人は目を見合つて、默つてゐた。

『今日は天氣もいゝし、風もないやうだから、一つ何處かへ遊びに行くかな』文平は言つたが、二人はやつぱり默つてゐた。

タイガーの新デンガク（串差弁食）一本八錢

人蔘エキス　京城本町　津村兄弟商會　電話一四八〇番　一八七〇番

密陽の名産　鮎粕漬　進物用　家庭用　美術箱入　青木堂支店　電話四一〇番　四二一番

新刊紹介

▲大正川柳（十一月）　號を重ぬる百、特に頁數を増して發刊されたる。諸大家の巻頭吟集を始め新川柳に對する私の主義主張『川柳を如何にお考へになりますか』の題下に凡ゆる名家の意見を蒐めたるは正に之れ本年掉尾の大奮發として同好者の喜ぶ所（五十錢東京芝區愛宕下町柳澤川柳社）

▲演藝畫報（十二月）　中村福助八百屋お七の劇、並びに山村成綺氏、十一月の劇評、其他本號獨特の精巧なる二色三色コロタイプ等の口繪は何れも好劇家の眼を喜ばせるであらう（一圓東京京橋區南佐柄木町演藝倶樂部）

▲朝鮮及滿洲（十一月）　時事小觀國家多難の秋、東洋の二大暗礁、朝鮮の努力相場其他文藝に雜錄に見るべきもの多し（五十錢京城永樂町共社）

▲我等（十二月）　衣服と肉體、性から觀た社會、クロポトキンの相互扶助論、無宗教者の殉死其他小説等（四十錢東京神田區錦町共社）

▲國有鐵道旅客及荷物運送規則（朝鮮令編）　十錢東京京橋區創進社

▲東亞政究會々報（第三號）　非賣品　支那上海興子路共會

▲慈濟時報（新制創始記念號）　七十錢　朝鮮總督府內共援行所

▲新年川柳カツト集（非賣品）　東京京橋木挽町カツト協報社

▲電氣界（誕辰記念號）　七十錢（次參照）

第二回 聯珠檢勝案 正解發表

本案の答案を審査して喜ばしく感じたるは前回に比して一般に熱心の度の著しく増せし事及び只一名なりしも正解者の有りし事是也解答數百三十五通尚一層の努力を望む參考の爲め落選案一二を掲げ次ぎに正解案を發表す（本題は㊀よりの追詰案なり）

落選案第一圖

本圖の㊃に對し㊅を『い』に止めさせ後㊉『ろ』の四追勝させるもの多し㊅よ圖の如く防がれては㊉の後黑が消滅す㊂は㊇に打つ可し（正解案第一圖參照）

演藝案內

▲大正館（本町）電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　十一月廿五日より公開新寫眞　◎喜劇『活劇の危險』　トーマスエツチ・インス氏映畫　◎活劇『影と光』全五卷　ドロシー・ダルトン孃主演　◎新派悲劇『母の心』全六卷　東京日日新聞所載　故柳川春葉先生一代の大作にて劇中の劇として「不如歸」を演じたる日活會社悲劇十八番の内に加へられたる

▲黃金館　『三河萬歲』　▲女優まげ　▲汚名　▲栗山大膳　▲電光石火　▲大演習の實況　▲仙石權兵衛

▲浪花館　▲浪花座

BLUTOSE.
A New Iron Tonic, Nutritious, Invigorating, and Stimulating Blood Production.

補血强壯!!!

合理的有機性鐵劑　ブルトーゼ

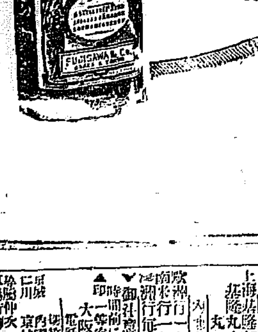
東京醫學博士增山醫學博士土田醫學博士阪井醫學博士實驗御推奨
帝國大學病院　府縣立病院　赤十字社病院　一般公私立病院　御賞用

ブルトーゼは最新の學理を應用して人工的に集成せる有機鐵化合物にして造血要素として人體肝臟中に含まるゝ鐵蛋白酸と同性同態なるが故に吸收同化容易にして何等副作用無く能く造血機能を亢進し赤血球を增加し新陳代謝を旺盛ならしめ全身營養上に强力なる作用を呈す、故に本劑服用後は著しく食慾を催進し體重を增加し精力を旺盛ならしめ皮膚の色澤を良くす、是實に醫學諸大家が擧つて補血强壯劑中の第一位として推奨せらるゝ所以なり。

本劑は急性慢性貧血症、萎黄病、腺病及肺結核其他諸疾患より來る營養不良並に衰弱、神經衰弱症、病後、姙婦、授乳婦、產後、虛弱癒痩者等造血機能及細胞機能並に新陳代謝の亢進を必要とする者に應用して顯著なる効を奏す。

本劑に左記五種類あり病症に應じ得意の作用を呈す。
ブルトーゼ　小瓶金式圓　大瓶金參圓
アルゼンブルトーゼ　小瓶金貳圓參拾錢　大瓶金參圓五拾錢
ヨードブルトーゼ　小瓶金貳圓參拾錢　大瓶金參圓五拾錢
グアヤコールブルトーゼ　小瓶金四圓五拾錢　大瓶金七圓
キナブルトーゼ　小瓶金貳圓參拾錢　大瓶金參圓五拾錢
小瓶二五〇グラム入　大瓶五〇〇グラム入
本劑は各地藥店に販賣す萬一品切の節は直接本舖へ御注文を乞ふ

說明書、實驗錄御申越次第送呈



發賣元　藤澤友吉商店
本店　大阪市東區道修町二丁目　振替口座大阪七四〇番
支店　東京市日本橋區本町四丁目　振替口座東京五八九番
京城府本町三丁目　振替口座京城五五八九番

日本郵船出帆　共同汽船出帆　尼崎汽船出帆　互光商會汽船出帆　朝鮮郵船出帆　大阪商船出帆